HP IPコンソール スイッチ
ユーザ ガイド



2004年4月（第3版）
製品番号 263924-193

© Copyright 2002-2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。ENERGY STARは、米国の登録商標です。UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

HP IPコンソール スイッチ ユーザ ガイド

2004年4月（第3版）

製品番号 263924-193

対象読者

このガイドは、サーバおよびストレージ システムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし、コンピュータ機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。



安全に使用していただくために

同梱の『安全に使用していただくために』をよく読んでから、製品のインストールを開始してください。

目次

コンポーネントの説明 9

コンポーネント 9

HP IPコンソール スイッチの取り付け 11

概要 11
取り付け前のチェックリスト 11
キットの内容 12
同梱されていない必要な品目 12
オプションの品目 12
必要な工具 12
ネットワークのセットアップ 12
ラックへのHP IPコンソール スイッチの取り付け 13
サイド マウント タイプA 13
サイド マウント タイプB 15
標準マウント 16
1Uマウント タイプA 18
1Uマウント タイプB 19
HP IPコンソール スイッチのハードウェアの設定 21
ハイパーターミナルの設定 22
Minicomの設定 23
マウスの加速度の調整 25
ローカル コンソールのOSDへのサーバ名の追加 26

拡張モジュールの取り付け 27

概要 27
取り付け前のチェックリスト 27
キットの内容 27
拡張モジュールのハードウェアの取り付け 27
サイド マウント 28
レール マウント 29
マジック テープ マウント 30
拡張モジュールの接続 30

インタフェース アダプタの取り付け 31

概要 31
インタフェース アダプタの接続 31

コンソール スイッチのカスケード接続 33
互換性のあるコンソール スイッチ モデル ... 33
Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチ ... 33
HP KVMサーバ コンソール スイッチ ... 34
Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチのカスケード接続 ... 35
Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチ カスケード構成の例 ... 37
HP KVMサーバ コンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチのカスケード接続 ... 38
HP IPコンソール スイッチ カスケード構成の例 ... 41
ローカル ポート操作 43
概要 ... 43
[メイン]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 43
ポートおよびサーバの表示と選択 ... 44
ソフト スイッチ ... 48
サーバのソフト スイッチの設定 ... 48
サーバのソフト スイッチ ... 48
前のサーバへのソフト スイッチ ... 49
OSD操作のためのキーの使用方法 ... 49
[セッテイ]ダイアログ ボックスの設定 ... 50
[セッテイ]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 50
サーバに関する日常的なタスクの管理 ... 51
サーバ名の割り当て ... 51
[ナマエ]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 51
デバイス タイプの割り当て ... 52
[デバイス]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 52
デバイス タイプの変更 ... 53
サーバ名の割り当て ... 55
表示動作の変更 ... 56
[メニュー]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 56
サーバの表示順の選択 ... 56
OSDを表示するまでの遅延時間の設定 ... 57
ステータス フラグの制御 ... 57
[フラグ]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 58
ステータス フラグの表示 ... 58
サーバへのブロードキャスト ... 59
キーストロークのブロードキャスト ... 59
マウスの動きのブロードキャスト ... 60
[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 60
選択されているサーバのブロードキャスト ... 60
[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスの起動 ... 61
スキャン パターンの設定 ... 61
[スキャン]ダイアログ ボックスへのアクセス ... 61

[スキャン]リストへのサーバの追加 62
[スキャン]リストからのサーバの削除 63
スキャン モードの起動 63
スキャン モードの停止 63
ローカル コンソール スイッチのセキュリティの設定 64
[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス 64
パスワードの変更 65
パスワード保護の設定 65
HP IPコンソール スイッチへのログオン 65
パスワード保護の削除 66
スクリーン セーバ モードの終了 66
スクリーン セーバの無効化 66
パスワード保護のないスクリーン セーバ モードの起動 67
OSDによるサーバ タスクの管理 67
[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス 68
ユーザ接続の表示および切断 69
現在のユーザ接続の表示 69
ユーザの切断 69
システム診断の実行 70
[シンダンノ ジッコウ]の起動 72
PS/2マウス接続の再設定 74
バージョン情報の表示 75
[バージョン]ダイアログ ボックスへのアクセス 75

TFTPによるファームウェアのアップグレード 79

概要 79
Windows NT用のTFTPの有効化 79
Windows 2000およびWindows XP用のTFTPの有効化 80
Linux用のTFTPの有効化 80
Microsoft Windows用のTFTPの設定 81
HP IPコンソール スイッチの更新 83
HP IPコンソール スイッチのハードウェアの更新 83
IPコンソール ビューアによるHP IPコンソール スイッチの更新 85
LAN接続の確立 86
FLASHファームウェアのアップグレード 87
FLASHの失敗の分析 89
インタフェース アダプタのファームウェアの更新 89
インタフェース アダプタのファームウェアの同時更新 89
インタフェース アダプタのファームウェアの個別更新 90

トラブルシューティング 93

動作インジケータLEDが点灯しない場合 93
ケーブルが正しく接続されていない場合 94

カスケード接続コンソール スイッチ構成が正しくない場合 94
コンソール スイッチに正しいファームウェアがインストールされていない場合 95
コンソール スイッチが正常に動作しない場合 95
コンソール スイッチを再起動するとハングする場合 95
コンソール スイッチのシリアル ポート パスワードを忘れた場合 96
拡張モジュールがCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチに認識されない場合 96
ローカルOSDコンソール スイッチ パスワードを忘れた場合 96
ローカル ユーザがOSDの著作権表記を表示できない場合 96
ローカル ユーザがOSDフラグを表示できない場合 97
UNIXベース プラットフォームで[PS/2ノ リセット]ボタンを押すとマウスとキーボードが機能しなくなる場合 97
マウスの位置が揃わない場合 97
"Mouse and keyboard have been reset"というメッセージが表示されてOSDが空白になる場合 97
OSDが歪んだり、文字が読めない場合 97
OSDにアクセスできない場合 98
HP IPコンソール スイッチとともに使用するとRILOEやiLOが正常に動作しない場合 98
診断テストを実行できない場合 98
スクリーン セーバが起動しない場合 98
接続を切断したサーバがリストに表示される場合 98
カスケード接続されているコンソール スイッチがシステムに認識されない場合 99
画面が緑色または赤色だけで表示される場合 99
ビデオ解像度を正しく設定できない場合 99
接続距離に関する表 99

FAQ（よくある質問） 101

拡張モジュール ポートはホットプラグ対応ですか。 101
インタフェース アダプタはホットプラグ対応ですか。 101
コンソール スイッチへのキーボード、モニタ、およびマウス接続は、ホットプラグ対応ですか。 102
コンソール スイッチへのサーバ接続はホットプラグ対応ですか。 102
コンソール スイッチは丸穴レールのラックに設置できますか。 102
コンソール スイッチは丸穴レールのラックにサイド マウントできますか。 102
インタフェース アダプタを交換する際にサーバの電源を切る必要がありますか。 102
コンソール スイッチは従来のHP製コンソール スイッチをサポートしていますか。 102
[メイン]ダイアログ ボックスにアクセスする方法を教えてください。 103
コンソール スイッチをカスケード接続する方法を教えてください。 103
キーボードの言語を変更する方法を教えてください。 103
カスケード接続されたコンソール スイッチが接続されているポートを識別する方法を教えてください。 104
カスケード接続されたコンソール スイッチにローカル接続する方法を教えてください。 104
コンソール スイッチのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。 104
インタフェース アダプタのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。 104
スクリーン セーバを無効にする方法を教えてください。 104
[シンダンノ ジッコウ]機能を使用する方法を教えてください。 105

シリアル ダウンロード ポートはホットプラグ対応ですか。 105
コンソール スイッチは動作可能ですか。 105
ケーブルの最小/最大長を教えてください。 105
サポートされているCAT5ケーブルの種類を教えてください。 106
HP IPコンソール スイッチのリモート ユーザがカスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチに接続されているサーバにアクセスできないのはなぜですか。 106

規定に関するご注意 107

規定準拠識別番号 107
各国別勧告 107
Federal Communications Commission Notice 108
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only 109
Modifications 110
Cables 110
Canadian Notice (Avis Canadien) 110
European Union Notice 111
BSMI Notice 112
Korean Notices 112

頭字語と略語 113

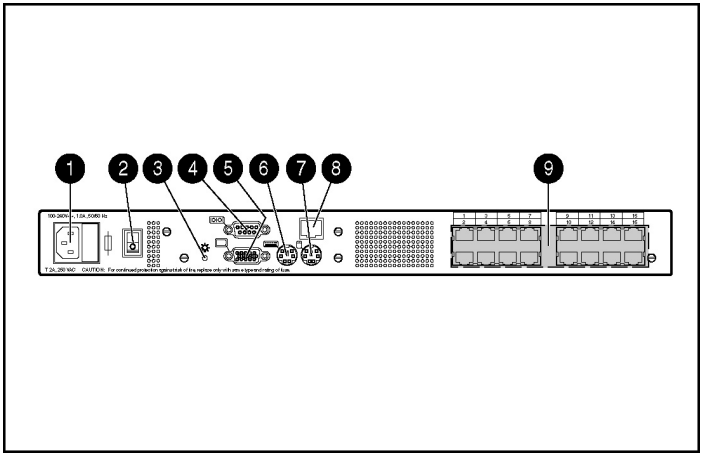
索引 115

コンポーネントの説明

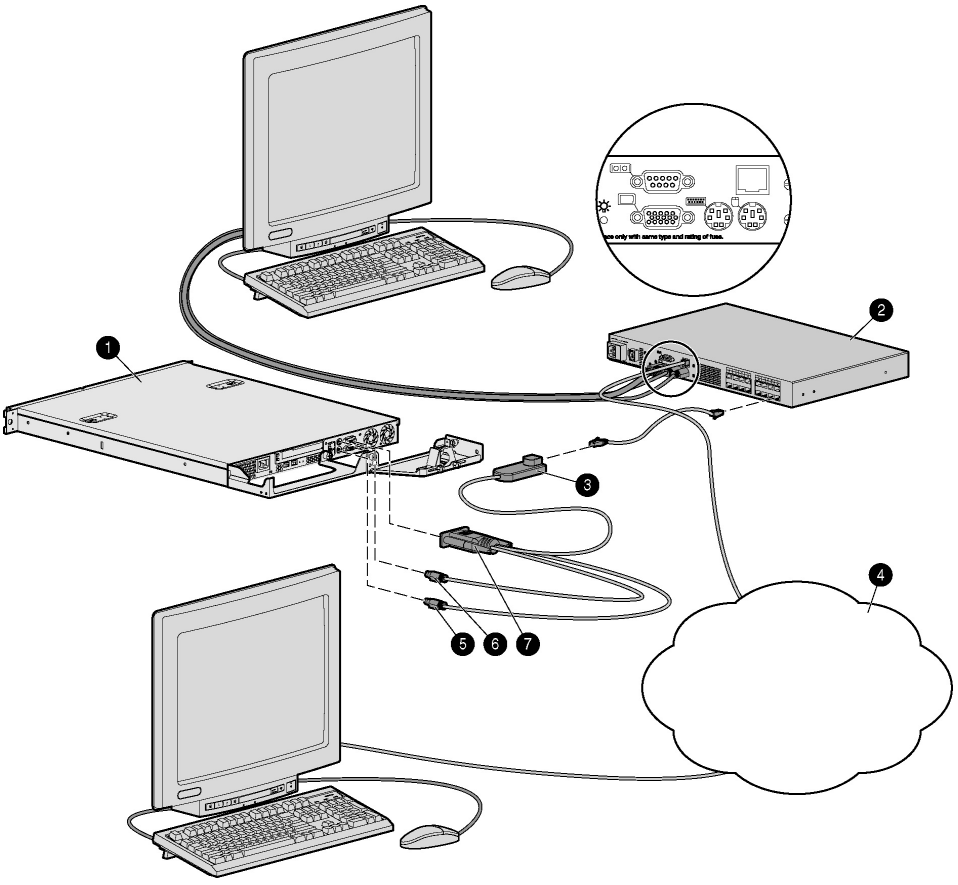
この項の目次

コンポーネント 9

コンポーネント



番号	説明
1	電源コード コネクタ
2	電源スイッチ
3	動作インジケータLED
4	シリアル ダウンロード コネクタ
5	ローカル ユーザ用モニタ コネクタ
6	ローカル ユーザ用キーボード コネクタ
7	ローカル ユーザ用マウス コネクタ
8	LANコネクタ
9	サーバ接続ポート



番号	説明
1	CPU
2	HP IPコンソール スイッチ
3	インタフェース アダプタ（31ページの「インタフェース アダプタの取り付け」を参照）
4	ネットワーク
5	キーボード コネクタ
6	マウス コネクタ
7	ビデオ コネクタ

HP IPコンソール スイッチの取り付け

この項の目次

概要 11
取り付け前のチェックリスト 11
ネットワークのセットアップ 12
ラックへのHP IPコンソール スイッチの設置 13
HP IPコンソール スイッチのハードウェアの設定 21
マウスの加速度の調整 25
ローカル コンソールのOSDへのサーバ名の追加 26

概要

HP IPコンソール スイッチを使用する前に、HP IPコンソール ビューアをインストールする必要があります。HP IPコンソール ビューアを使用すると、コンソール スイッチ システムに接続されたサーバの表示および制御やコンソール スイッチ システムの設定およびメンテナンスを行ったり、IP接続によるコンソール スイッチへの不正アクセスを防止したりすることができます。詳しくは、コンソール スイッチに付属のCDに収録されている『HP IPコンソール スイッチ ソフトウェア ガイド』を参照してください。

> **注：**アナログ ポートの操作には、HP IPコンソール ビューア ソフトウェアは不要です。アナログ ポートは、オン スクリーン ディスプレイ（OSD）を使用します。詳しくは、「ローカル ポート操作」（43ページ）を参照してください。

HP IPコンソール スイッチ システムは、Ethernetネットワーク インフラストラクチャとTCP/IPプロトコルを使用して、オペレータと接続コンピュータ間でキーボード、ビデオ、およびマウス情報を送信します。10Base-T Ethernetも使用できますが、専用のスイッチ100Base-Tネットワークを使用すると性能が向上します。

取り付け前のチェックリスト

取り付け前に、以下のすべてのコンポーネントが揃っていることを確認してください。

キットの内容

- HP IPコンソール スイッチ
- 電源コード
- ラックマウント キット
- シリアル ダウンロード ケーブル
- ドキュメンテーション キット
- ファームウェア/ソフトウェアCD
- CAT5クロスオーバ ケーブル

同梱されていない必要な品目

- PS/2インタフェース アダプタまたはUSBインタフェース アダプタ
- UTP CAT5ケーブル（CAT6およびCAT7ケーブルも使用可能です）

オプションの品目

拡張モジュール（27ページの「拡張モジュールの取り付け」を参照）

必要な工具

一部の手順には、以下の工具を使用します。

- プラス ドライバ
- トルクス ドライバ（T-25）

ネットワークのセットアップ

HP IPコンソール スイッチ システムは、IPアドレスを使用して、コンソール スイッチや、HP IPコンソール ビューアを実行するコンピュータを識別します。HP IPコンソール スイッチは、BootP（DHCPのサブセット）と静的IPアドレスの両方をサポートしています。各ユニット用にIPアドレスを予約し、コンソール スイッチをネットワークに接続するときもIPアドレスが変更されないようにすることをおすすめします。

ラックへのHP IPコンソール スイッチの取り付け

HP IPコンソール スイッチには、ラックマウント用ブラケットが付属しており、ラックに簡単に取り付けることができます。HP IPコンソール スイッチや他のコンポーネントをラック キャビネットにまだ取り付けていない場合、取り付け前にラックを設置場所に固定してください。装置は、ラック キャビネットの一番下から順に取り付けてください。また、ラック キャビネットに装置を傾けて取り付けたり、ラックの強度以上に取り付けたりしないように注意してください。

> **注 :** HP IPコンソール スイッチをラックに取り付ける前に、付属の電源コードを使用してHP IPコンソール スイッチを電源に接続し、装置の電源を入れてください。数秒後、動作インジケータLED（9ページの「コンポーネント」を参照）が点灯します。動作インジケータLEDが点灯しない場合は、電源が入っていること、電源コードが接続されていること、および電源が機能していることを確認してください。

ラックマウント構成には、以下の複数の方法があります。

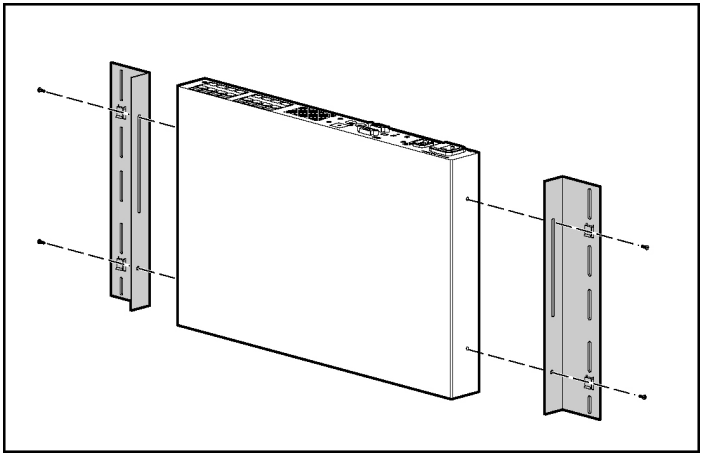
- サイド マウント
 - タイプA - 角穴とセルフ タッピング ネジ用の丸穴が交互に配置されているレール
 - タイプB - 角穴のみのレール

 > **注 :** HP IPコンソール スイッチをサイド マウントする場合は、サイド マウント用のレールに、角穴とセルフ タッピング ネジ用の丸穴が交互に配置されているか、角穴のみとなっている必要があります。
- 標準マウント
- 1Uマウント
 - タイプA - 丸穴レール
 - タイプB - 角穴レール

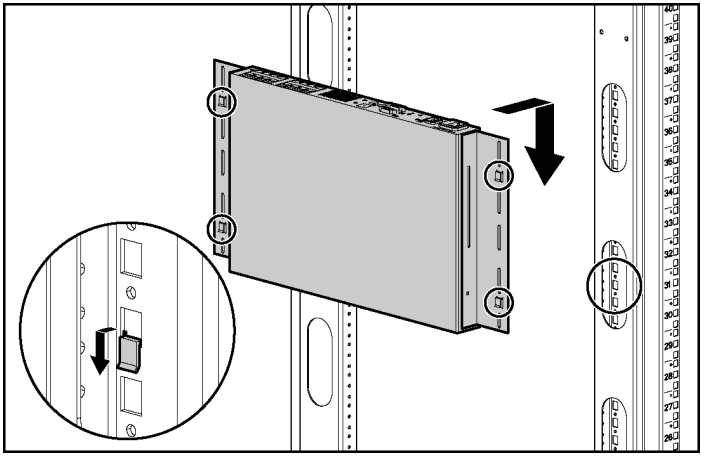
サイド マウント タイプA

1. コンソール スイッチの各側面から2本ずつ、計4本のネジを取り外します。

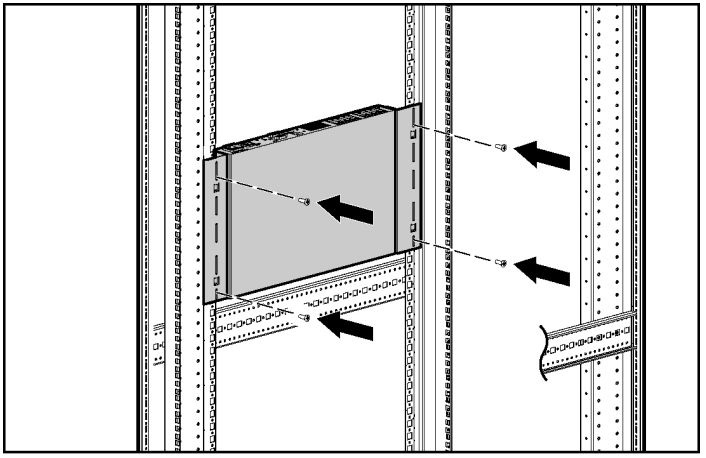
2. 取り外した4本のネジを使用して、サイド マウンティング ブラケットをコンソール スイッチに取り付けます。



3. サイド マウンティング ブラケットのタブを、ラックの各側面の対応する位置にスライドさせて挿入します。

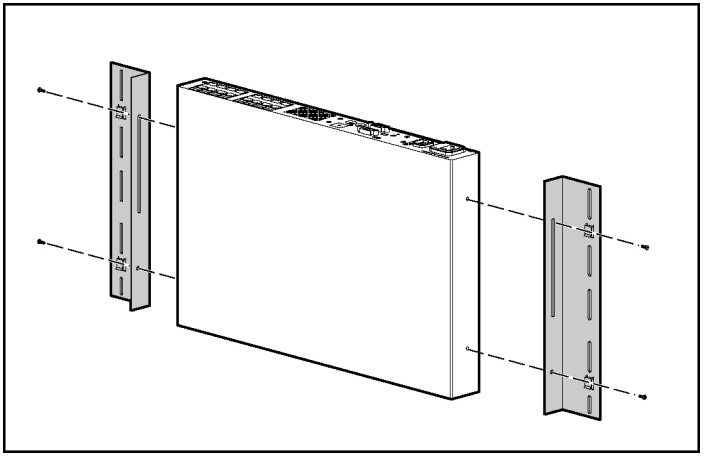


4. 各側面に各2本、計4本のセルフ タッピング ネジを使用して、レールにコンソール スイッチを固定します。

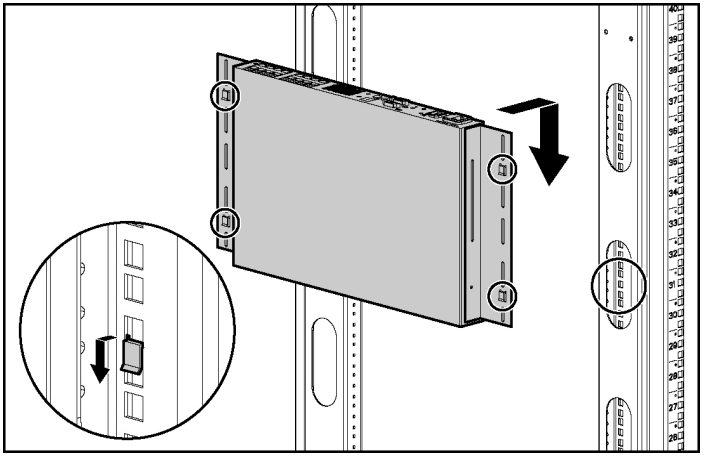


サイド マウント タイプB

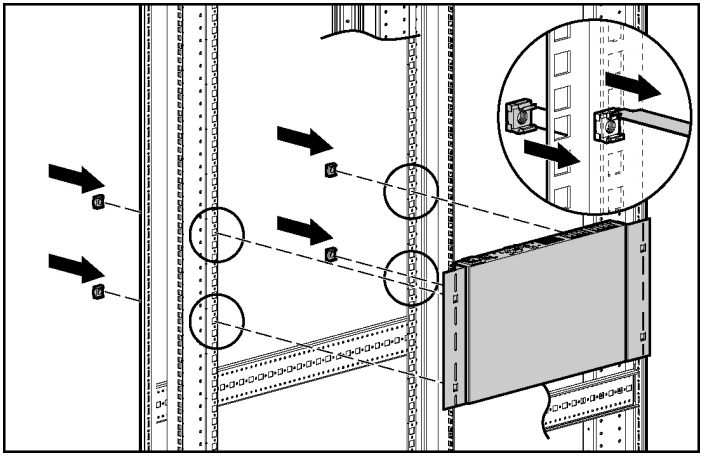
1. コンソール スイッチの各側面から2本ずつ、計4本のネジを取り外します。
2. 取り外した4本のネジを使用して、サイド マウンティング ブラケットをコンソール スイッチに取り付けます。



3. サイド マウンティング ブラケットのタブを、ラックの各側面の対応する位置にスライドさせて挿入します。



4. サイドマウンティング ブラケットの対応する位置に、4個のケージ ナットを挿入します。

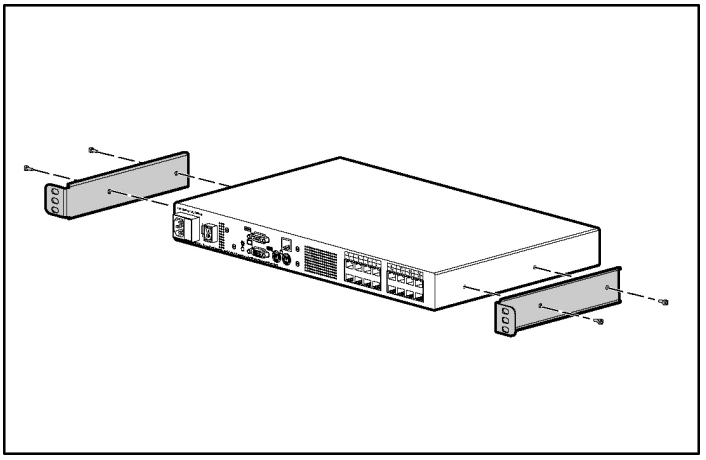


5. 各側面に各2本、計4本のM-6ネジを使用して、レールにコンソール スイッチを固定します。

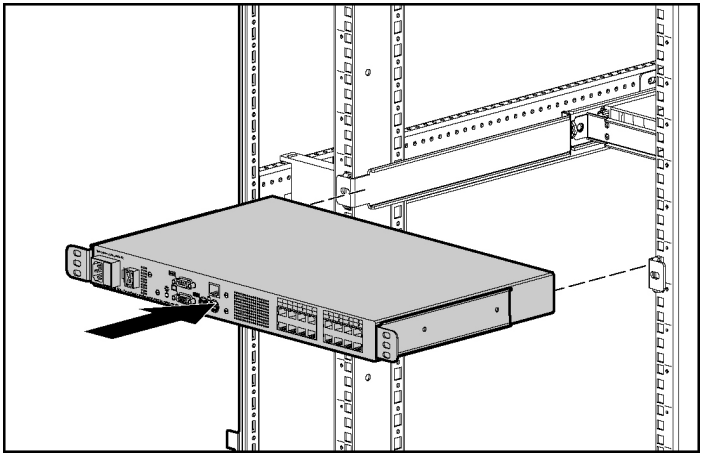
標準マウント

1. コンソール スイッチの各側面から2本ずつ、計4本のネジを取り外します。

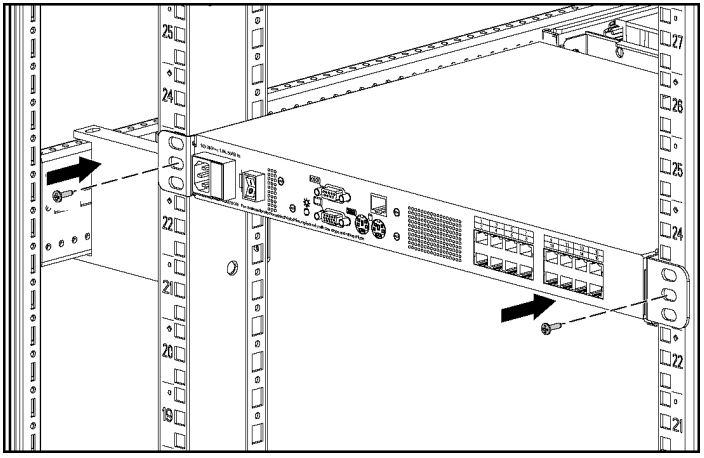
2. 取り外した4本のネジを使用して、1Uブラケットをコンソール スイッチに取り付けます。



3. 背面側レールの裏側にケージ ナットが取り付けられていない場合は、取り付けます。
4. コンソール スイッチをスライドさせて挿入し、1U製品の背面側に設置します。

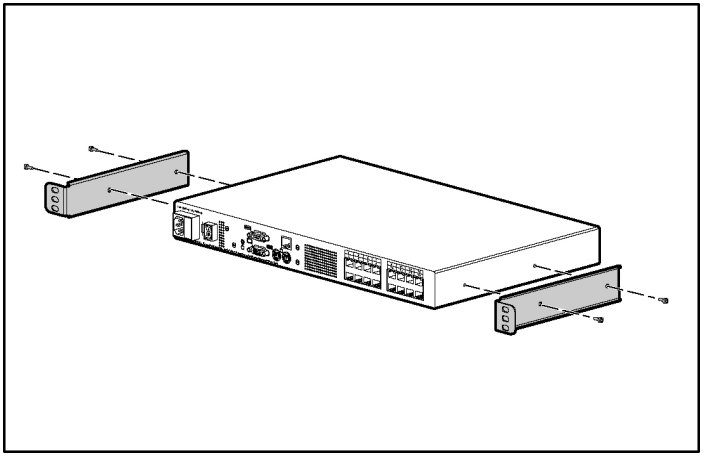


5. 各側面に各1本、計2本のM-6ネジを使用して、レールにコンソール スイッチを固定します。

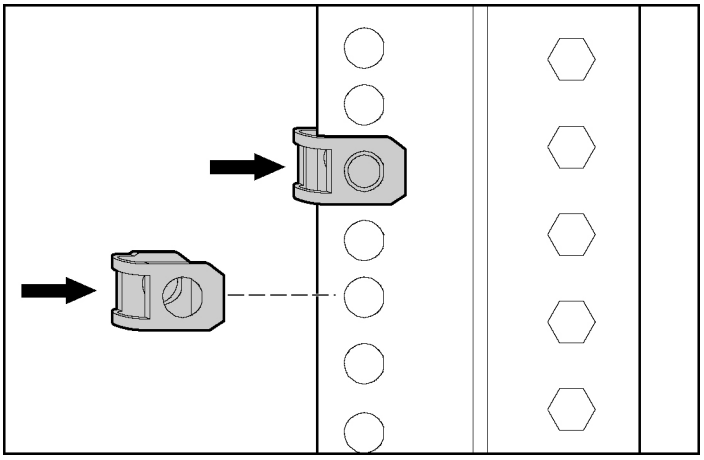


1Uマウント タイプA

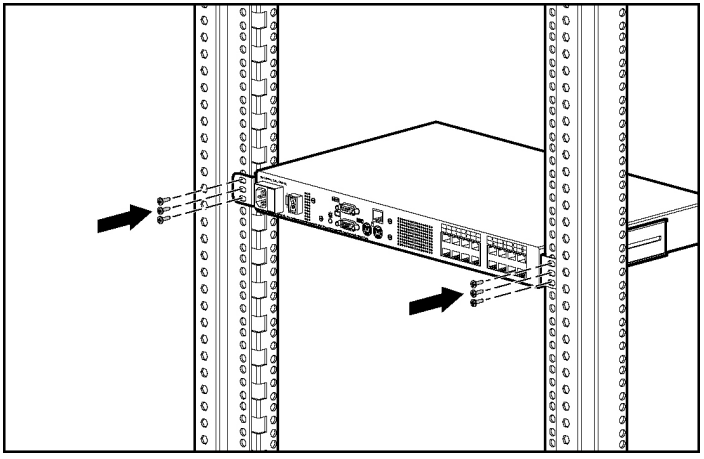
1. コンソール スイッチの各側面から2本ずつ、計4本のネジを取り外します。
2. 取り外した4本のネジを使用して、1Uブラケットをコンソール スイッチに取り付けます。



3. 最大6個のクリップ ナットを取り付けます。



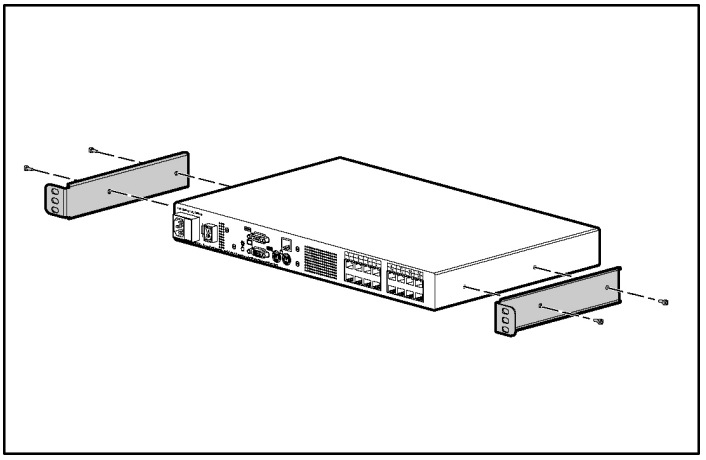
4. 該当する数のトルクス ネジ（T-25）を使用して、レールにコンソール スイッチを固定します。



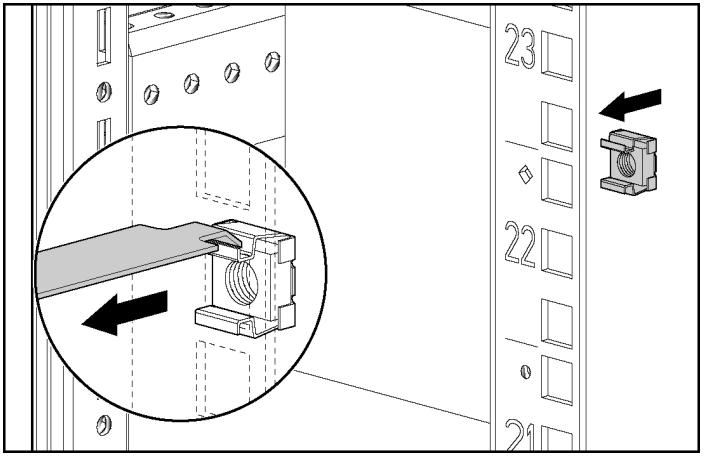
1Uマウント タイプB

1. コンソール スイッチの各側面から2本ずつ、計4本のネジを取り外します。

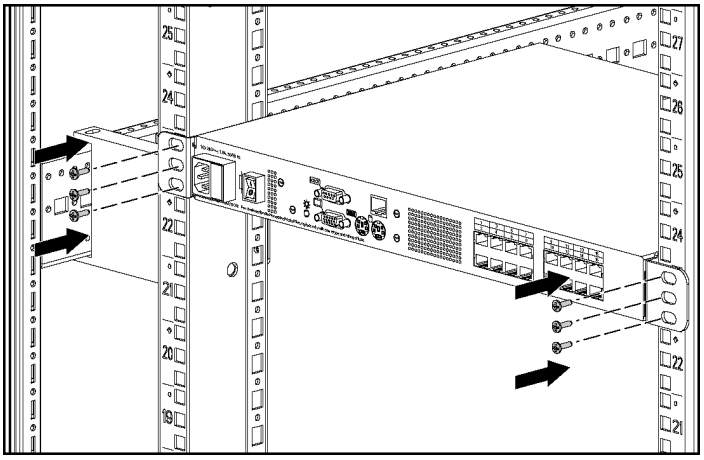
2. 取り外した4本のネジを使用して、1Uブラケットをコンソール スイッチに取り付けます。



3. 最大6個のケージ ナットを取り付けます。



4. 該当する数のM-6ネジを使用して、レールにコンソール スイッチを固定します。

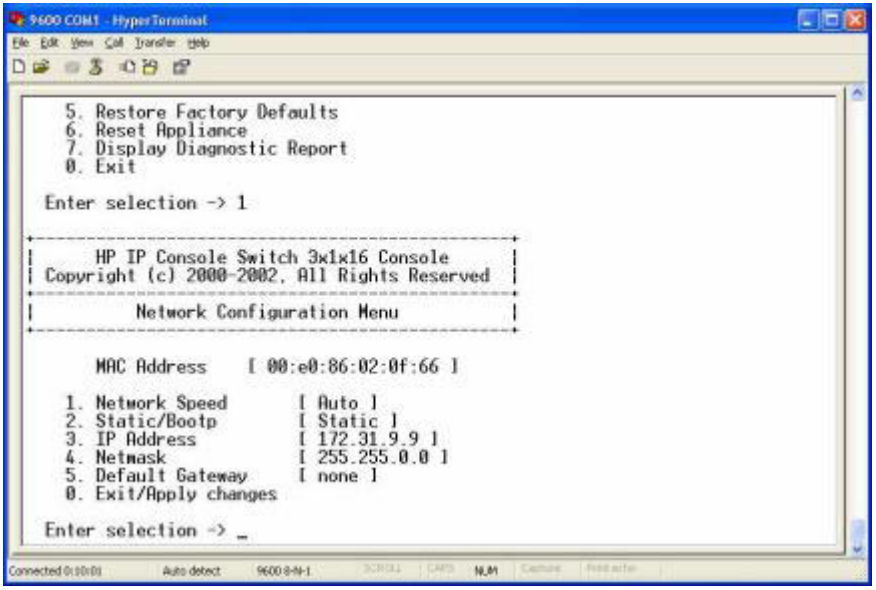


HP IPコンソール スイッチのハードウェアの設定

HP IPコンソール スイッチのハードウェアを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. HP IPコンソール スイッチからローカル表示したいサーバで使用できるCOMポートに、シリアル ケーブルの一方の端を接続します。
2. HP IPコンソール スイッチのシリアル ダウンロード コネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）に、シリアル ケーブルの他方の端を接続します。
3. 同梱の電源コードをHP IPコンソール スイッチの電源コード コネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続し、有効な電源コンセントに接続します。
4. HP IPコンソール スイッチの電源を入れます。動作インジケータLED（9ページの「コンポーネント」を参照）が点灯します。動作インジケータが30秒間点滅し、その間にセルフテストが実行されます。動作インジケータの点滅が停止したら、約10秒間待ってから**Enter**キーを押してメイン メニューにアクセスします。
5. Microsoft® Windows®用ハイパーターミナル（22ページの「ハイパーターミナルの設定」を参照）やLinux®用Minicom（23ページの「Minicomの設定」を参照）のようなサーバ用端末エミュレーション ソフトウェアを設定します。

6. **[1. Network Configuration]**を選択します。[Network Configuration]メニューが表示されます。



7. **オプション1**を選択して、ネットワーク速度を設定します。可能な場合、自動交渉機能を使用せずに、手動で接続を設定します。設定したら、[Network Configuration]メニューに戻ります。

8. **オプション2**を選択して、静的/BootP IPアドレスを指定します。静的IPアドレスを使用すると設定が容易になります。BootPアドレスを使用する場合は、コンソール スイッチにIPアドレスを提供するようにBootPサーバを設定し、手順9を省略して、その次の手順に進んでください。

9. [Terminal Applications]メニューから**オプション3～5**を選択して、コンソール スイッチのIPアドレス、ネットマスク、およびデフォルトのゲートウェイを設定します。設定を終了したら、0を入力して[IPViewer HyperTerminal]メニューに戻ります。

ハイパーターミナルの設定

ハイパーターミナルを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. デスクトップ画面で、**[スタート]**メニューから、**[プログラム]**、**[アクセサリ]**、**[通信]**、**[ハイパーターミナル]**の順に選択します。[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
2. 説明の名前を入力し、**[OK]**をクリックします。[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
3. シリアル ケーブルでコンソール スイッチに接続されている通信ポートを選択し、**[OK]**をクリックします。[COM1のプロパティ]ウィンドウが表示されます。
4. [ビット/秒]には**9600**、[データ ビット]には**8**、[パリティ]には**なし**、[ストップ ビット]には**1**、[フロー制御]には**なし**を選択し、**[OK]**をクリックします。ハイパーターミナルがコンソール スイッチに自動接続します。
5. **Enter**キーを押して、コンソール スイッチのオプション メニューにアクセスします。

Minicomの設定

> **重要 :** Minicomは、Red Hat 7.2および7.3のインストール中にロードされるユーティリティです。ただし、オペレーティング システムのインストール中にLinux®ユーティリティをインストールするオプションを選択しない場合、Red Hat社のWebサイトからMinicom 1.831-16.i386.rpmファイルをダウンロードしないとMinicomを使用できません（RPMのインストール手順については、Red Hat社のWebサイトを参照してください）。

Minicomを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. Linux®コンソールにログオンし、または端末を開き、コマンド プロンプトに`minicom -s`と入力します。[Configuration]メニューが表示されます。
2. **[Serial Port Setup]**を選択します。[Change which setting?]メニューが表示されます。
3. **[Option A (Serial Device)]**を選択します。手動でデバイス タイプをdev/modemから/dev/ttyS0に変更し、**Enter**キーを押します。
4. **[Option E (Bps/Par/Bits)]**を選択します。[Comm Parameters]メニューが表示されます。
5. **[E (Speed 9600 Bps)]**を選択し、**Enter**キーを押します。[Option E]の横に[9600 8N1]が表示されます。
6. **[Option F (Hardware Flow Control)]**を選択します。

 [Change which setting?]メニューが以下のように設定されていることを確認します。

 A—Serial Device: /dev/ttyS0

B—Lockfile Location: /var/lock

C—Callin Program:

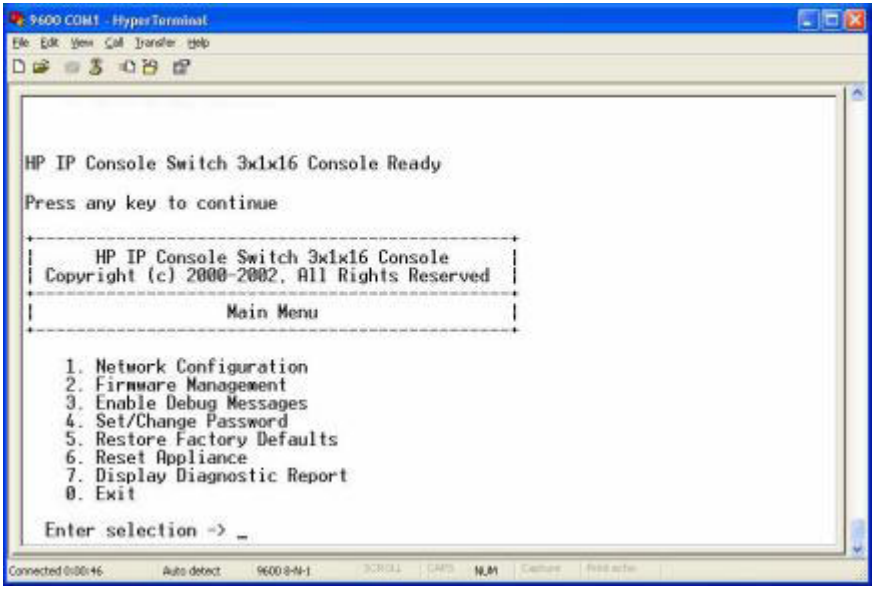
D—Callout Program:

E—Bps/Par/Bits: 9600 8N1

F—Hardware Flow Control: No

G—Software Flow Control: No

7. **Enter**キーを押して、[Configuration]メニューに戻ります。[Save setup as dfl]オプションまで移動し、**Enter**キーを押します。
8. [Configuration]メニューで[Exit from Minicom]オプションまで移動し、**Enter**キーを押します。
9. Red Hat Linux® 7.2および7.3のコマンド プロンプトから、`Minicom`と入力します。接続が確立されると、ただちにHP IPコンソール スイッチの[Main]メニューが表示されます。画面の指示にしたがって、HP IPコンソール スイッチを設定します。6つのオプションがある[IPViewer HyperTerminal]メニューが表示されます。



マウスの加速度の調整

サーバをHP IPコンソール スイッチに接続するには、マウスの加速度を調整する必要があります。コンソール スイッチに接続するすべてのMicrosoft® Windows®システムで、デフォルトのMicrosoft® Windows® PS/2マウス ドライバを使用してください。

> **注：**マウスの性能を最適化するには、コンソール スイッチに付属のCDに収録されている『HP IPコンソール スイッチ ソフトウェア ガイド』の「マウスの移動倍率の設定」および「マウスの位置の調整とリセット」を参照してください。

Microsoft® Windows®でマウスの加速度を調整するには、以下の手順に従ってください。

1. デスクトップ画面で、**[スタート]**メニューから、**[設定]**、**[コントロール パネル]**の順に選択し、**マウス** アイコンをダブルクリックします。
2. **[動作]**タブを選択します。
3. Microsoft® Windows NT®の場合は、[ポインタの速度]を**[遅く]**に設定し、[Acceleration]を**[None]**に設定します。

 -または-

 Microsoft® Windows® 2000の場合は、[速度]を**50%**（デフォルト）に設定し、[ポインタの加速]を**[いいえ]**に設定します。

 -または-

 Microsoft® Windows® XPの場合は、[速度]を**50%**（デフォルト）に設定し、[Acceleration]を左端から**6番目**の位置に設定します。

Linux®でマウスの加速度を調整するには、以下の手順に従ってください。

1. GNOMEデスクトップから、**メイン メニュー**をクリックします。
2. メイン メニューのタスク リストから、**[プログラム]**、**[デスクトップ設定]**、**[周辺機器]**の順に選択します。
3. [周辺機器]タスク リストから、**[マウス]**を選択します。[マウス]ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、マウスを右ききまたは左ききに設定したり、しきい値や加速度を変更してマウスの動きを調整したりすることができます。加速度は、左端から**4番目**の位置に設定してください。

ローカル コンソールのOSDへのサーバ名の追加

デジタル ステーションのHP IPコンソール ビューアでコンソール スイッチを追加または検出する前に、まずローカル コンソールのOSDにサーバ名を追加することをおすすめします。

サーバ名を追加するには、以下の手順に従ってください。

1. ローカル アナログ ステーションでOSDを起動し、すべてのサーバ名を入力します。OSDをカスタマイズしたり、アナログ ステーションからHP IPコンソール スイッチにアクセスしたりすることもできます。手順について詳しくは、「ローカル ポート操作」（43ページ）を参照してください。
2. 各デジタル ステーションにHP IPコンソール ビューアをインストールした後に、IPコンソール ビューアを起動し、**[新規コンソール スイッチ]**をクリックして新しいHP IPコンソール スイッチを追加します。これで、電源の入っているすべてのサーバおよびインタフェース アダプタについて、OSDで入力したサーバ名がHP IPコンソール ビューアに表示されるようになります。オフラインになっているインタフェース アダプタは、後で、再同期化機能を使用して追加することができます。

詳しくは、コンソール スイッチに付属のCDに収録されている『HP IPコンソール スイッチ ソフトウェア ガイド』を参照してください。

拡張モジュールの取り付け

この項の目次

概要 27
取り付け前のチェックリスト 27
拡張モジュールのハードウェアの取り付け 27
拡張モジュールの接続 30

概要

オプションの拡張モジュールをHP IPコンソール スイッチ システムに追加すると、アクセス可能なサーバの総数が増やすことができます。拡張モジュールには、ラックへのマウントを簡単にするための部品が同梱されています。

取り付け前のチェックリスト

取り付け前に、以下のすべての部品が揃っていることを確認してください。

キットの内容

- 拡張モジュール
- ネジ
- マジック テープ

このキットには、部品によっては余分な数量が含まれている場合があります。必要に応じてご使用ください。

拡張モジュールのハードウェアの取り付け

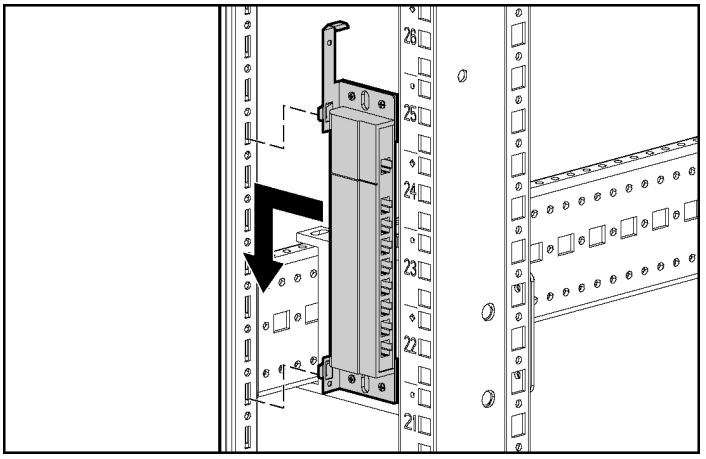
ラックマウント構成には、以下の複数の方法があります。

- サイド マウント

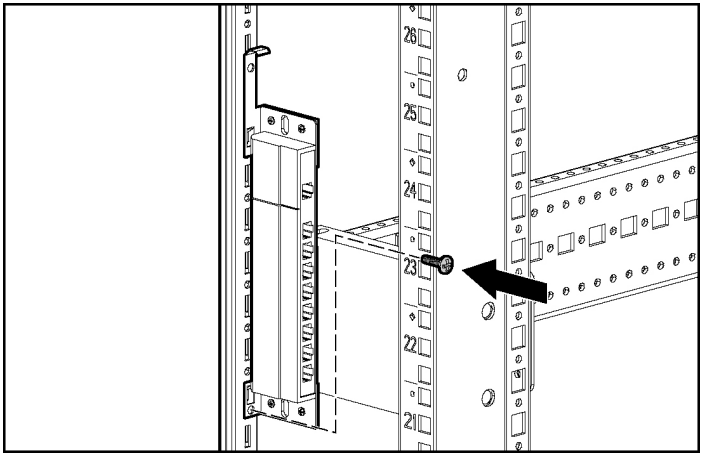
- レール マウント
- マジック テープ マウント

サイド マウント

1. サイド マウンティング ブラケットのタブを、ラック フレームの中にスライドさせて挿入します。

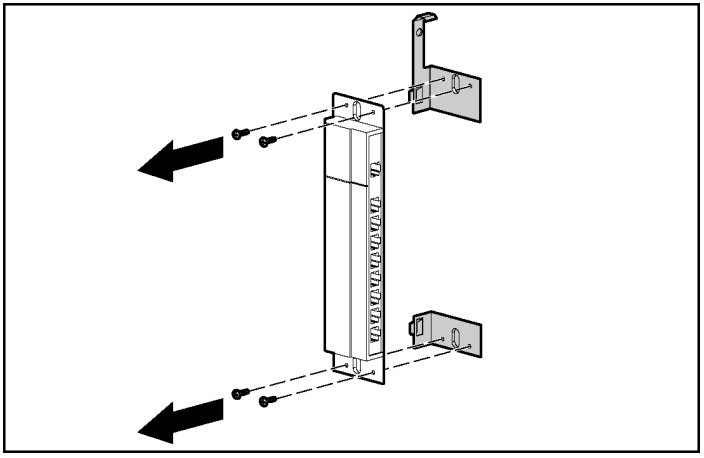


2. 1本のセルフ タッピング ネジを下側のサイド マウンティング ブラケットに使用して、拡張モジュールをラック フレームに固定します。

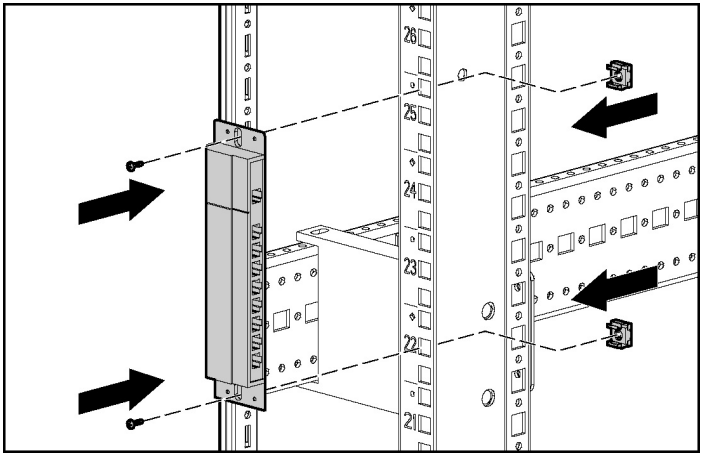


レール マウント

1. サイド マウンティング ブラケットを拡張モジュールに固定しているネジを取り外します。

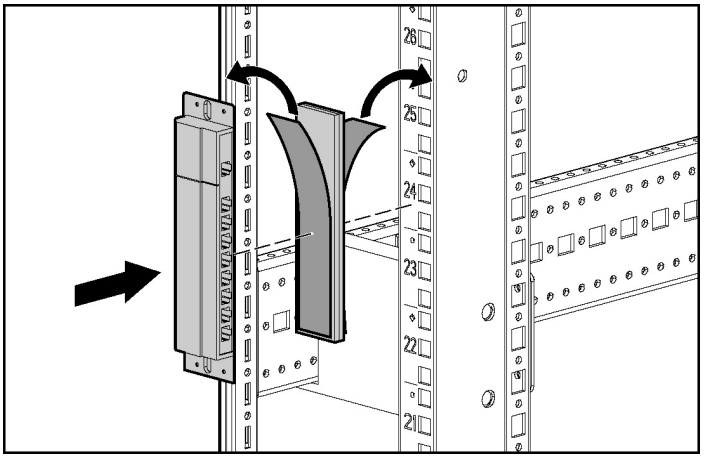


2. サイド マウンティング ブラケットの穴が配置されているラック フレームの中に、2個のケージ ナットを挿入し、2本のM-6ネジを使用して、拡張モジュールをラック フレームに固定します。



マジック テープ マウント

1. 拡張モジュールの位置を決定します。
2. マジック テープの一方の保護ストリップを取り外して、マジック テープを拡張モジュールに取り付けます。
3. マジック テープのもう一方の保護ストリップを取り外して、拡張モジュールをラックフレームに取り付けます。



拡張モジュールの接続

1. 拡張モジュールをラックに取り付けます。
2. UTP CAT5ケーブル（最大9本）を用意します。
3. 1本のUTP CAT5ケーブルを、HP IPコンソール スイッチのサーバ接続ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続します。
4. 手順3のUTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、拡張モジュールのINポートに接続します。
5. 他のUTP CAT5ケーブルの一方の端を、拡張モジュールのOUTポートに接続します。
6. 手順5のUTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、インタフェース アダプタに接続します（31ページの「インタフェース アダプタの取り付け」を参照）。
7. 他のサーバをこのシステムに接続する場合は、手順5～6を繰り返します。

インタフェース アダプタの取り付け

この項の目次

概要 31
インタフェース アダプタの接続 31

概要

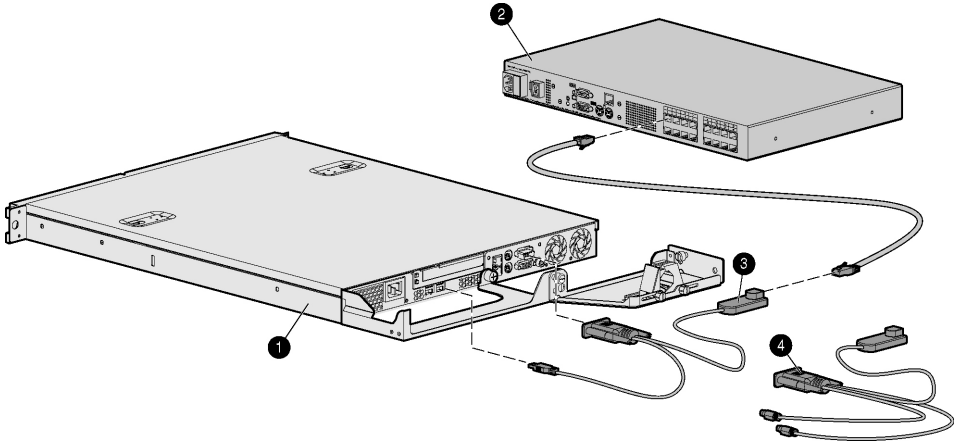
HP IPコンソール スイッチ システムを正常に動作させるには、インタフェース アダプタが必要です。ただし、インタフェース アダプタは、HP IPコンソール スイッチ キットには同梱されていません。インタフェース アダプタを使用することにより、UTP CAT5ケーブルをPS/2またはUSB接続に接続して、サーバへのキーボード、ビデオ、およびマウス セッションを確立できます。

> **注 :** このガイドの各例では、UTP CAT5ケーブルを使用していますが、UTP CAT6ケーブルやUTP CAT7ケーブルを使用することもできます。

インタフェース アダプタの接続

1. UTP CAT5ケーブルを、HP IPコンソール スイッチのサーバ接続ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続します。
2. UTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、インタフェース アダプタのRJ-45ポートに接続します。
3. インタフェース アダプタを、サーバの該当ポートに接続します。
4. 上記の手順を繰り返して、別のサーバをこのシステムに接続します。

次の図に、インタフェース アダプタを使用したHP IPコンソール スイッチ システムの構成例を示します。



番号	説明
1	サーバ
2	HP IPコンソール スイッチ
3	USBインタフェース アダプタ
4	PS/2インタフェース アダプタ

コンソール スイッチのカスケード接続

この項の目次

互換性のあるコンソール スイッチ モデル 33
Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチのカスケード接続 35
HP KVMサーバ コンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチのカスケード接続 38

互換性のあるコンソール スイッチ モデル

HP IPコンソール スイッチとコンソール スイッチをカスケード接続する前に、以下の情報をよく読んでおいてください。

HP IPコンソール スイッチがサポートするカスケード接続は、1層だけです。拡張モジュールは1層のカスケード接続と見なされます。このため、カスケード接続されたコンソール スイッチと組み合わせて使用することはできません。

コンソール スイッチをカスケード接続した場合、正しく動作させるために、装置の電源投入は正しい順序で行ってください。つまり、コンソール スイッチ、モニタ、サーバの順に電源を投入してください。

注：HP IPコンソール スイッチは、CompaqブランドのKVM PCIスイッチやHP製の従来のコンソール スイッチをサポートしません。

Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチ



注意：Compaqデュアル8ポート サーバ コンソール スイッチをカスケード接続する場合、同時に接続するインタフェース アダプタは1つだけにしてください。複数のインタフェース アダプタを接続すると、正しく動作しない場合があります。



注意：コンソール スイッチをカスケード接続する場合は、必ず、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチをHP IPコンソール スイッチの下にカスケード接続してください。このカスケード接続順序に従わないと、正しく動作しない場合があります。

次のCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチをHP IPコンソール スイッチ システムに統合できます。互換性のあるCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチ モデルは、次のとおりです。

- 4ポート コンソール スイッチ ボックス（製品番号：400336-291）
- 8ポート コンソール スイッチ ボックス（製品番号：400337-291）
- デュアル8ポート コンソール スイッチ ボックス（製品番号：400338-291）
- 2×8 48VDC（製品番号：400542-B-21。日本未発売）

HP IPコンソール スイッチとカスケード接続する場合、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチはすべて、SoftPaqファームウェア バージョン2.1.0以上を使用してアップグレードする必要があります。

HP KVM サーバ コンソール スイッチ



注意：HP IPコンソール スイッチとHP KVMサーバ コンソール スイッチのカスケード接続にインタフェース アダプタを使用しないでください。これらの製品のカスケード接続にインタフェース アダプタを使用すると、正しく動作しない場合があります。



注意：コンソール スイッチをカスケード接続する場合は、必ず、HP KVMサーバ コンソール スイッチをHP IPコンソール スイッチの下にカスケード接続してください。このカスケード接続順序に従わないと、正しく動作しない場合があります。

注：カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチおよび接続されるすべてのインタフェース アダプタのファームウェアをアップグレードするには、カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチにキーボード、モニタ、およびマウスをローカル接続して、ローカルOSDにアクセスする必要があります。

次のHP KVMサーバ コンソール スイッチをHP IPコンソール スイッチ システムに統合できます。互換性のあるHP KVMサーバ コンソール スイッチ モデルは、次のとおりです。

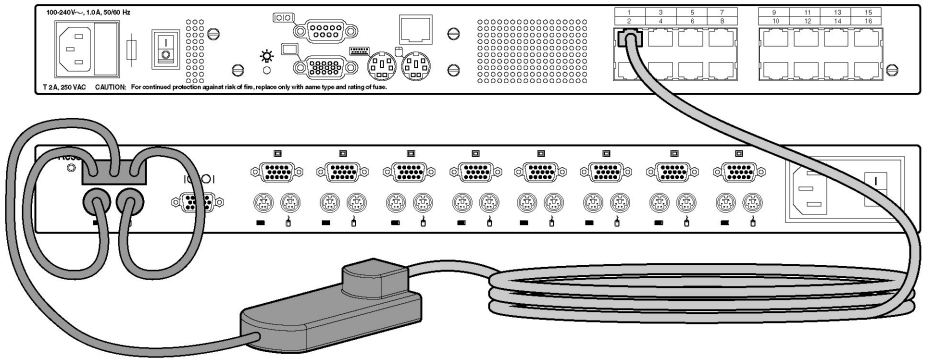
- KVMサーバ コンソール スイッチ（1×8）（製品番号：336044-B21）
- KVMサーバ コンソール スイッチ（2×16）（製品番号：336045-B21）

HP IPコンソール スイッチとカスケード接続する場合、HP KVMサーバ コンソール スイッチはすべて、SoftPaqファームウェア バージョン2.0.5以上を使用してアップグレードする必要があります。

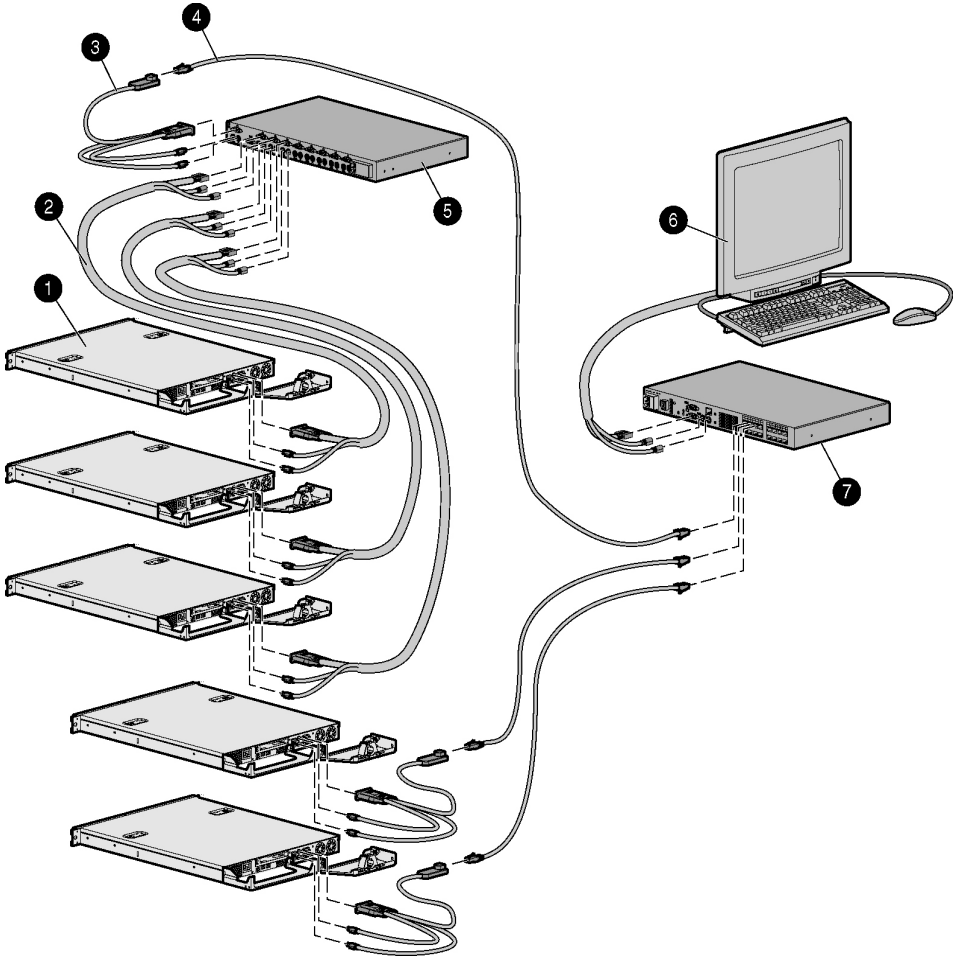
Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチと HP IPコンソール スイッチのカスケード接続

1. コンソール スイッチをラックに取り付けます。
2. ローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを、HP IPコンソール スイッチに接続します。
3. UTP CAT5ケーブルを、HP IPコンソール スイッチのサーバ接続ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続します。
4. UTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、インタフェース アダプタのRJ-45ポートに接続します。
5. インタフェース アダプタを、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチの（文字「A」で示されている）INポートに接続します。
6. キーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチの（番号の付いている）OUTポートに接続します。
7. 手順6のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルのもう一方の端を、サーバの該当ポートに接続します。
8. このシステムに追加する他のコンソール スイッチについて、手順3～7を繰り返します。
9. コンソール スイッチの電源を入れます。
10. モニタの電源を入れます。
11. サーバの電源を入れます。

次の図に、HP IPコンソール スイッチにカスケード接続されたCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチを示します。上側のコンソールスイッチがメイン コンソール スイッチで、下側がカスケード接続されたコンソール スイッチです。



Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチ カスケード構成の例



番号	説明
1	サーバ
2	キーボード、ビデオ、およびマウス ケーブル
3	PS/2インタフェース アダプタ
4	UTP CAT5ケーブル

番号	説明
5	カスケード接続されたCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチ
6	ローカル ポート
7	メインのHP IPコンソール スイッチ

HP KVMサーバ コンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチのカスケード接続

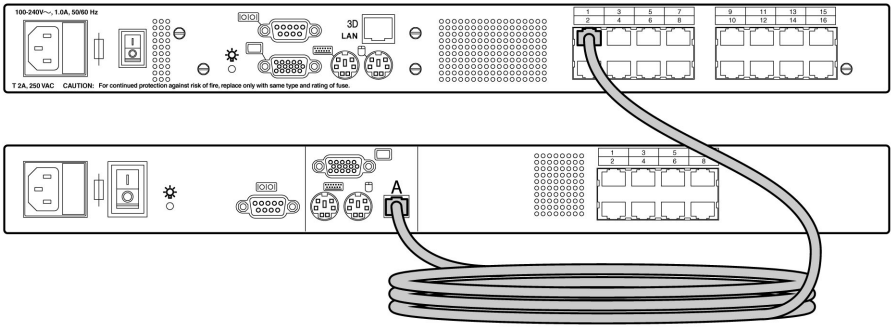
注 : カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチおよび接続されるすべてのインタフェース アダプタのファームウェアをアップグレードするには、カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチにキーボード、モニタ、およびマウスをローカル接続して、ローカルOSDにアクセスする必要があります。

1. コンソール スイッチをラックに取り付けます。
2. UTP CAT5ケーブルを確認して、カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチのサーバ接続ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に一方の端を接続します。
3. UTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、インタフェース アダプタのRJ-45ポートに接続します。
4. インタフェース アダプタを、サーバの該当ポートに接続します。
5. このシステムに追加する他のサーバについて、手順1～3を繰り返します。
6. ローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを、カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチに接続します。
7. カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチの電源を入れます。
8. モニタの電源を入れます。
9. サーバの電源を入れます。
10. カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチのファームウェアを更新します。
11. インタフェース アダプタのファームウェアをすべて更新します（89ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの更新」を参照）。
12. カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチの電源を切ります。
13. モニタの電源を切ります。

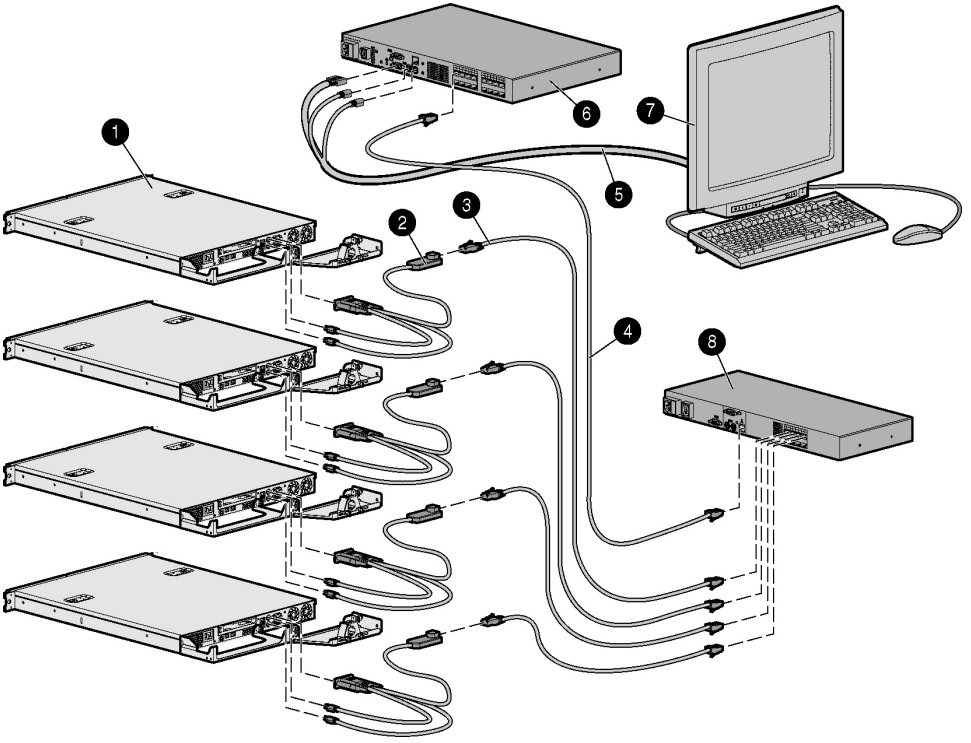
14. カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチから、ローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを抜き取ります。
15. メインのHP IPコンソール スイッチに、ローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを接続します。
16. メインのHP IPコンソール スイッチのサーバ接続ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に、UTP CAT5ケーブルを接続します。
17. UTP CAT5ケーブルのもう一方の端を、カスケード接続するHP KVMサーバ コンソール スイッチのRJ-45インタフェース ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続します。
18. このシステムに追加する他のコンソール スイッチについて、手順15～16を繰り返します。
19. コンソール スイッチの電源を入れます。
20. モニタの電源を入れます。
21. メインのHP IPコンソール スイッチのファームウェアを更新します（HP IPコンソール スイッチのマニュアルを参照）。
22. インタフェース アダプタのファームウェアをすべて更新します（89ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの更新」を参照）。

次の図に、HP KVMサーバ コンソール スイッチとカスケード接続されたHP IPコンソール スイッチを示します。上側がメイン コンソール スイッチで、下側がカスケード接続されたコンソール スイッチです。

注意：HP IPコンソール スイッチとHP KVMサーバ コンソール スイッチのカスケード接続にインタフェース アダプタを使用しないでください。これらの製品のカスケード接続にインタフェース アダプタを使用すると、正しく動作しない場合があります。



HP IPコンソール スイッチ カスケード構成の例



番号	説明
1	サーバ
2	PS/2インタフェース アダプタまたはUSBインタフェース アダプタ*
3	UTP CAT5ケーブル
4	UTP CAT5ケーブル
5	キーボード、ビデオ、およびマウス ケーブル
6	メインのHP IPコンソール スイッチ
7	ローカル ポート
8	カスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチ
*図には示していません。	

ローカル ポート操作

この項の目次

概要 43
ソフト スイッチ 48
OSD操作のためのキーの使用方法 49
[セッテイ]ダイアログ ボックスの設定 50
サーバ名の割り当て 51
デバイス タイプの割り当て 52
表示動作の変更 56
ステータス フラグの制御 57
サーバへのブロードキャスト 59
スキャン パターンの設定 61
ローカル コンソール スイッチのセキュリティの設定 64
OSDによるサーバ タスクの管理 67
ユーザ接続の表示および切断 69
システム診断の実行 70
PS/2マウス接続の再設定 74
バージョン情報の表示 75

概要

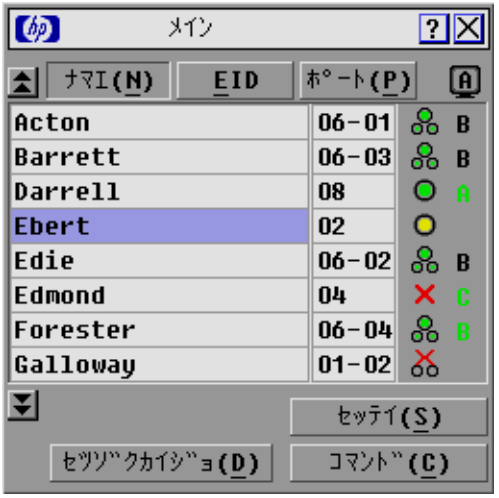
HP IPコンソール スイッチ システムのリア パネル（9ページの「コンポーネント」を参照）には、直接アクセスするためにHP IPコンソール スイッチにキーボード、モニタ、およびマウスを接続するためのローカル ポートが1つ以上（各モデルにより異なります）あります。

[メイン]ダイアログ ボックスを使用すると、HP IPコンソール スイッチ システム内のサーバを表示、設定、および制御できます。

[メイン]ダイアログ ボックスへのアクセス

Print Scrnキーを押します。[メイン]ダイアログ ボックスが表示されます。

注：Ctrlキーを1秒間に2回押すことによってOSDを起動することもできます。このキー操作は、**Print Scrn**キーについて説明しているすべての場所で使用できます。



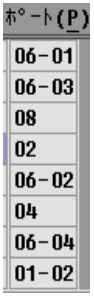
ポートおよびサーバの表示と選択

名前やポート、または各インタフェース アダプタが持つ固有のEIDによって、サーバを表示できます。

[ポート]列の表示

[メイン]ダイアログ ボックスを初めて起動すると、OSDが生成するポート リストがデフォルトで表示されます。

[ポート]列は、サーバが接続されているポートを示します。たとえば、次のスクリーンショットでは、最初の番号が1番目のコンソール スイッチのポート番号、2番目の番号が、サーバが接続されているカスケード接続されたコンソール スイッチのポート番号を示します。



1番目のコンソール スイッチのポート番号	カスケード接続されたコンソール スイッチのポート番号	表示されるサーバのステータス アイコン（46ページの「サーバ ステータス列の表示」を参照）	説明
16	01		サーバは、8ポートHP KVMサーバ コンソール スイッチのポート01に接続されており、そのHP KVMサーバ コンソール スイッチは、1番目のHP KVMサーバ コンソール スイッチのポート16にカスケード接続されています。
14	02		サーバは、デュアル16ポートHP KVMサーバ コンソール スイッチのポート02に接続されており、そのHP KVMサーバ コンソール スイッチは、1番目のHP KVMサーバ コンソール スイッチのポート14にカスケード接続されています。
01	04		サーバは、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチのポート04に接続されており、そのCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチは、1番目のHP KVMサーバ コンソール スイッチのポート01にカスケード接続されています。
02			各サーバは拡張モジュールに接続されているため、同じポートを使用しています。2番目のポート番号が示されていないので、拡張モジュールはカスケード接続されていないことがわかります。

1番目のコンソール スイッチのポート番号	カスケード接続されたコンソール スイッチのポート番号	表示されるサーバのステータス アイコン（46 ページの「サーバ ステータス列の表示」を参照）	説明
02			各サーバは拡張モジュールに接続されているため、同じポートを使用しています。2番目のポート番号が示されていないので、拡張モジュールはカスケード接続されていないことがわかります。
04			サーバは、1番目のコンソール スイッチに接続されており、インタフェース アダプタが接続されていないかまたはサーバの電源が切断されています。
05			サーバは、1番目のコンソール スイッチに接続されており稼動中です。

サーバ ステータス列の表示

HP KVMサーバ コンソール スイッチ システム内のサーバのステータスは、[メイン]ダイアログ ボックスの右列のアイコンで示されます。

番号	説明
	インタフェース アダプタは、直接接続されているか、HP KVM サーバ コンソール スイッチまたは拡張モジュールを介してカスケード接続されているか、または電源が入っています。
	インタフェース アダプタが接続されていないか、またはサーバの電源が入っていません。
	インタフェース アダプタは、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチにカスケード接続されており、サーバが接続されていないかまたは電源が入っていません。
	インタフェース アダプタは、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチにカスケード接続されており、サーバが接続されているかまたは電源が入っています。
	インタフェース アダプタはアップグレード中です。
	コンソール スイッチがどのポートに接続されているかを示す記号です。

番号	説明
	ユーザが現在どのポートに接続して表示しているかを示す記号です。
	ユーザが接続しているが現在アクティブなセッションが行われていないポートがどのポートかを示す記号です。

サーバの選択

ユーザは、[メイン]ダイアログ ボックスから特定のサーバを選択できます。新しいサーバを選択すると、コンソール スイッチは選択されたサーバの設定に合わせてキーボード、ビデオ、およびマウスを再設定します。

サーバの**[ナマエ]**、**[EID]**、または**[ポート]**番号をダブルクリックします。

-または-

（[ポート]ボタンをクリックして）サーバ リストがポート順に表示されている場合は、[ポート]番号を入力して**Enter**キーを押します。

-または-

（[ナマエ]ボタンまたは[EID]ボタンをクリックして）サーバ リストが[ナマエ]順または[EID]番号順に表示されている場合は、サーバの名前またはEID番号を区別できる最初の数文字を入力して**Enter**キーを押します。

> **注：**[EID]は、インタフェース アダプタのケーブル ラベルに記載されている電子ID番号で、自動的にインタフェース アダプタに割り当てられます。

前のサーバの選択

Print Scrnキーを押し、**Backspace**キーを押します。前の接続と現在の接続が切り替わります。

サーバからの切断

Print Scrnキーを押し、**Alt+0**キーを押します。

-または-

[Disconnect]をクリックします。

どのサーバも選択が解除され、Free状態になります。OSDのステータス フラグ（57ページの「ステータス フラグの制御」を参照）にFreeと表示されます。

ソフト スイッチ

ソフト スイッチは、ホットキーを使用してサーバを切り替える機能です。**Print Scrn**キーを押して、サーバの名前または番号の最初の数文字を入力することによって、サーバのソフト スイッチを実行することができます。OSDを表示するまでの遅延時間（57ページの「OSDを表示するまでの遅延時間の設定」を参照）を設定している場合は、指定時間以内にこれらのキーを押さないと、OSDが表示されません。

サーバのソフト スイッチの設定

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[メニュー]**の順にクリックします。[メニュー]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [スクリーン チエン ジカン]に、**Print Scrn**キーを押してから[メイン]ダイアログ ボックスを表示するまでの遅延時間（秒）を入力します。
3. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

サーバのソフト スイッチ

サーバを選択するには、**Print Scrn**キーを押します。（[ポート]ボタンをクリックして）サーバ リストがポート順に表示されている場合は、[ポート]番号を入力して**Enter**キーを押します。

-または-

（**[ナマエ]**ボタンまたは**[EID]**ボタンをクリックして）サーバ リストが[ナマエ]順または[EID]番号順に表示されている場合は、サーバの名前またはEID番号を区別できる最初の数文字を入力して**Enter**キーを押します。

前のサーバへのソフト スイッチ

Print Scrnキーを押し、**Backspace**キーを押します。前の接続と現在の接続が切り替わります。

OSD操作のためのキーの使用方法

キーストローク	説明
Print Scrn	OSDの[メイン]ダイアログ ボックスを開きます。**Print Scrn**キーを2度押すと、現在選択されているデバイスに**Print Scrn**キーストロークが送信されます。
F1	現在のダイアログ ボックスのヘルプ画面を開きます。
Esc	変更を保存せずに現在のダイアログ ボックスを閉じ、1つ前のダイアログ ボックスに戻ります。[メイン]ダイアログ ボックスでは、OSDが閉じ、選択したサーバに戻ります。メッセージ ボックスでは、ポップアップ ボックスが閉じ、現在のダイアログ ボックスに戻ります。
Alt	他のキーと組み合わせて使用すると、ダイアログ ボックスを開き、オプションを選択し、動作を実行します。
Alt + X	現在のダイアログ ボックスを閉じ、前のダイアログ ボックスに戻ります。
Alt + 0	**[OK]**ボタンを選択し、前のダイアログ ボックスに戻ります。
Enter	[メイン]ダイアログ ボックスでのコンソール スイッチ操作を完了し、OSDを終了します。
シングルクリック、Enter	テキスト ボックスで、編集するテキストを選択し、左右の矢印キーでカーソルを移動できます。もう一度**Enter**キーを押すと、編集モードが終了します。
Print Scrn、BackSpace	他のキーストロークを入力していない場合、以前の選択に戻します。
Print Scrn、Alt + 0	ユーザをただちにサーバから切り離します。すべてのサーバの選択が解除されます。ステータス フラグにはFreeが表示されます（これはキーボードの**0**に適用され、キーパッドの**0**には適用されません）。
Print Scrn、Pause	ただちにスクリーン セーバ モードに入り、その特定のコンソールへのアクセスを防止します（パスワードで保護されている場合）。
上/下方向の矢印	カーソルを行間で上下に移動します。
右/左方向の矢印	カーソルを列間で左右に移動します。テキスト ボックスの編集中は、列内でカーソルを移動します。
Page Up/Page Down	[ナマエ]リストと[ポート]リストで、ページ間を上下に移動します。

キーストローク	説明
Home/End	リストの先頭や末尾にカーソルを移動します。
BackSpace	テキスト ボックス内で文字を消去します。
Delete	[スキャン]ダイアログ ボックスで現在の選択を削除したり、テキスト ボックスで文字を削除します。
Shift + Delete	スキャン リストの編集中に、現在の選択以下のすべての行を削除します。
数字	キーボードまたはキーパッドから数字を追加します。
Caps Lock	ユーザを無効にします（小文字を入力するには、Shiftキーを使用します）。

[セッテイ]ダイアログ ボックスの設定

OSDの[セッテイ]ダイアログ ボックスから、HP IPコンソール スイッチを設定したり、日常的なタスクを管理したりすることができます。サーバを固有の名前で識別できるようにするには、コンソール スイッチの初期設定時に**[ナマエ]**をクリックします。

[セッテイ]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**をクリックします。[セッテイ]ダイアログ ボックスが表示されます。



サーバに関する日常的なタスクの管理

ボタン	機能
メニュー	サーバ リストの表示順を[ポート]番号順、[EID]番号順、または[ナマエ]順に変更します。 Print Scrnキーを押してから[メイン]ダイアログ ボックスを表示するまでの遅延時間を変更します。
フラグ	ステータス フラグの表示、タイミング、色、および位置を変更します。
ブロードキャスト	キーボードとマウスで、複数のサーバを同時に制御します。
スキャン	最大16台のサーバについて、カスタム スキャン パターンを設定します。
セキュリティ	サーバ アクセスを制限するパスワードを設定し、スクリーン セーバを有効にします。有効なパスワードは、5～15文字の英数字です。使用できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、ハイフンです。 スクリーン セーバ モードを有効にします。
デバイス	サーバや他のコンソール スイッチなど、HP IPコンソール スイッチに接続されているデバイス タイプを指定します。
ナマエ	サーバの固有の名前を指定します。

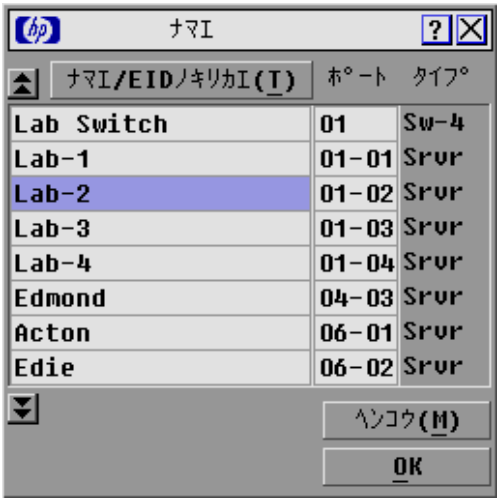
サーバ名の割り当て

各サーバをポート番号ではなくサーバ名によって識別するには、[ナマエ]ダイアログ ボックス（51ページの「[ナマエ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）を使用します。[ナマエ]リストは常にポート順にソートされ、サーバ名はインタフェース アダプタ（31ページの「インタフェース アダプタの取り付け」を参照）に保存されます。インタフェース アダプタまたはサーバを別のスイッチ ポートに移動すると、名前と設定がHP IPコンソール スイッチに認識されます。

[ナマエ]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[ナマエ]**の順にクリックします。[ナマエ]ダイアログ ボックスが表示されます。

注 : サーバ リストが最後に表示されてから変化した場合、リストが自動的に更新されるときに、マウス カーソルが砂時計になります。リストの更新が完了するまで、マウスやキーボードの入力は受け付けられません。



デバイス タイプの割り当て

コンソール スイッチにカスケード接続されているCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチをコンソール スイッチが自動検出する際に、カスケード接続されているCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチ上のポート数を、[デバイス]ダイアログ ボックスを使用して指定する必要があります。

[デバイス]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[デバイス]**の順にクリックします。[デバイス]ダイアログ ボックスが表示されます。

注 : [ヘンコウ]ボタンは、設定可能なCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチを選択した場合にだけ使用できます。



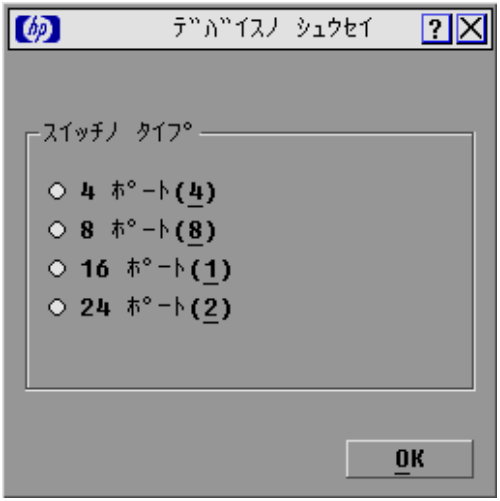
HP IPコンソール スイッチがカスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチを検出すると、そのHP KVMサーバ コンソール スイッチに各サーバを収容するためにポート番号が自動的に変更されます。たとえば、そのコンソール スイッチがポート02に接続されている場合、スイッチ ポートは02としてリストされ、そのスイッチに接続されている各サーバには02-01、02-02のように順番に番号が付きます。

ただし、HP IPコンソール スイッチがカスケード接続されたCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチを検出した場合は、ユーザが、[デバイスノ シュウセイ]ダイアログ ボックスを使用してCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチのポート数を選択する必要があります。

デバイス タイプの変更

1. [デバイス]ダイアログ ボックスで、[ポート]を選択します。

2. **[ヘンコウ]**をクリックします。[デバイスノ シュウセイ]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. カスケード接続されたCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチがサポートするポート数を選択します。
4. **[OK]**をクリックします。
5. デバイス タイプを割り当てたいポートごとに、手順2～4を繰り返します。
6. [デバイス]ダイアログ ボックスで**[OK]**をクリックして設定を保存します。

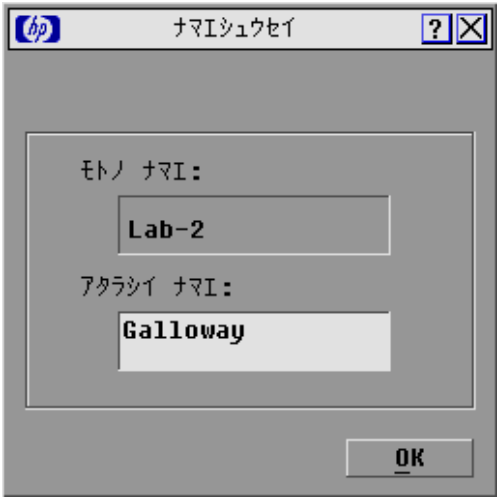
 -または-

 [X]をクリックするか**Esc**キーを押して、変更を保存せずに終了します。

 注：[デバイスノ シュウセイ]ダイアログ ボックスで行った変更は、[デバイス]ダイアログ ボックスで**[OK]**をクリックするまで保存されません。

サーバ名の割り当て

1. [ナマエ]ダイアログ ボックス（51ページの「[ナマエ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）で、名前またはポート番号を選択し、**[ヘンコウ]**をクリックします。[ナマエシュウセイ]ダイアログ ボックスが表示されます。



2. [アタラシイ ナマエ]フィールドに名前を入力します。名前の長さは、1～15文字です。使用できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、ハイフンです。
3. **[OK]**をクリックして、新しい名前を[ナマエ]ダイアログ ボックスに転送します。
4. システム内の各サーバについて、手順3～5を繰り返します。
5. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

 -または-

 [X]をクリックするか**Esc**キーを押して、設定を保存せずに終了します。

 注：[ナマエシュウセイ]ダイアログ ボックスで行った変更は、[ナマエ]ダイアログ ボックスで**[OK]**をクリックするまで保存されません。

表示動作の変更

[メニュー]ダイアログ ボックス（56ページの「[メニュー]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、サーバの表示順、HP IPコンソール スイッチの接続モード、および**Print Scrn**キーを押してからOSDを表示するまでの時間を変更できます。表示順の設定によって、[メイン]、[デバイス]、[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスなどの画面でのサーバの表示方法が変更されます。

[メニュー]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[メニュー]**の順にクリックします。[メニュー]ダイアログ ボックスが表示されます。



サーバの表示順の選択

1. [メニュー]ダイアログ ボックス（56ページの「[メニュー]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[ナマエ]**を選択して、サーバ名をアルファベット順に表示します。

 -または-

 [EID]を選択して、サーバをインタフェース アダプタID番号順に表示します。

 -または-

[ポート]を選択して、サーバをポート番号順に表示します。

2. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

 -または-

 [X]をクリックするか**Esc**キーを押して、設定を保存せずに終了します。

OSD を表示するまでの遅延時間の設定

OSDを表示するまでの遅延時間を設定すると、OSDを表示せずにソフト スイッチ（48ページの「ソフト スイッチ」を参照）を実行できます。

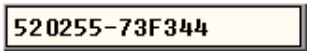
1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**Print Scrn**キーを押してからOSDを表示するまでの遅延時間（0～9秒）を入力します。**0**を入力すると、OSDがただちに表示されます。
2. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

 -または-

 [X]をクリックするか**Esc**キーを押して、設定を保存せずに終了します。

ステータス フラグの制御

ステータス フラグはデスクトップに表示され、選択したサーバの[ナマエ]や[EID]番号または特定のポートのステータスを表示します。フラグの表示（サーバの[ナマエ]または[EID]番号）、フラグの色、不透明さ、表示時間、および位置を変更するには、[フラグ]ダイアログ ボックス（58ページの「[フラグ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）を使用します。

フラグ	説明
	[ナマエ]によるフラグ タイプ
	[EID]番号によるフラグ タイプ
	ユーザがすべてのシステムから切断されていることを示すフラグ
	ブロードキャストが有効になっていることを示すフラグ

フラグ	説明
	フラグの位置を設定するためのコントロール

[フラグ]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[フラグ]**の順にクリックします。[フラグ]ダイアログ ボックスが表示されます。



ステータス フラグの表示

1. [フラグ]ダイアログ ボックス（58ページの「[フラグ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[ナマエ]**または**[EID]**を選択して、表示する情報を決定します。
2. 常にフラグを表示する**[ヒョウジ]**またはソフト スイッチの実行後にフラグを5秒間だけ表示する**[タイム]**を選択します。
3. [ヒョウジショク]で、フラグの色を選択します。
4. [ヒョウジ モード]で、フラグを不透明にする**[フトウメイ]**またはフラグを透明にする**[トウメイ]**を選択します。
5. 以下の手順で、デスクトップでのステータス フラグの位置を指定します。

a. **[イチ セッテイ]**をクリックして、[イチ セッテイ]画面を表示します。

b. タイトル バーをクリックして、希望する位置までドラッグをクリックします。

c. 右ボタンをクリックして、[フラグ]ダイアログ ボックスに戻ります。



6. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

-または-

[X]をクリックするか**Esc**キーを押して、設定を保存せずに終了します。

注 : フラグ位置の変更は、[フラグ]ダイアログ ボックス（58ページの「[フラグ] ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）で**[OK]**をクリックするまで保存されません。

サーバへのブロードキャスト

アナログ ユーザは、システム内の複数のサーバを同時に制御して、選択したすべてのサーバに同一入力を受信させることができます。ブロードキャストを受信するサーバごとに、キーストロークやマウスの動きをブロードキャストすることを個別指定できます。

注 : ブロードキャストの実行中、ブロードキャスト サーバに接続しているユーザは切断され、サーバに接続できなくなります。

注 : 拡張モジュール（27ページの「拡張モジュールの取り付け」を参照）接続あたり1台のサーバだけにブロードキャストできます。

キーストロークのブロードキャスト

ブロードキャストを受信するすべてのサーバがキーストロークを同様に解釈するには、キーボードの状態が同一でなければなりません。具体的には、Caps LockとNum Lockの状態がすべてのキーボードで同じでなければなりません。HP IPコンソール スイッチは選択されているサーバに同時にキーストロークを送信しようと試みますが、一部のサーバによって拒否され、送信が遅れる場合があります。

マウスの動きのブロードキャスト

マウスが正しく動作するには、すべてのシステムのマウス ドライバ、デスクトップ（たとえば、アイコンの位置）、およびビデオ解像度が同一でなければなりません。さらに、マウスは、すべての画面で正確に同じ位置になければなりません。これらの条件を満たすことは非常に困難であるため、マウスの動きを複数のシステムにブロードキャストすると予測できない結果になる場合があります。

[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[ブロードキャスト]**の順にクリックします。[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスが表示されます。



選択されているサーバのブロードキャスト

1. [ブロードキャスト]ダイアログ ボックス（60ページの「[ブロードキャスト]ダイアログボックスへのアクセス」を参照）から、ブロードキャスト コマンドを受信するサーバについて、キーボード チェックボックスとマウス チェックボックスを選択します。

 -または-

上向きまたは**下向き矢印**キーを押して、目的のサーバまでカーソルを移動します。**Alt+K**キーを押してキーボード チェックボックスを選択し、**Alt+M**キーを押してマウス チェックボックスを選択します。他のサーバについて、この手順を繰り返します。

2. **[OK]**をクリックして設定を保存し、[セッテイ]ダイアログ ボックスに戻ります。
3. **[X]**をクリックするか**Esc**キーを押して、[メイン]ダイアログ ボックスに戻ります。
4. [メイン]ダイアログ ボックスで、[コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド」ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）をクリックし、**[ブロードキャスト ユウコウカ]**チェックボックスを選択してブロードキャストを有効にします。
5. ユーザ ステーションから、ブロードキャストしたい情報を入力したり、マウスの動きを実行します。

[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスの起動

ブロードキャストを有効または無効にするには、[コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[ブロードキャスト ユウコウカ]**を選択または選択解除します。

スキャン パターンの設定

スキャン モード（63ページの「スキャン モードの起動」を参照）では、HP IPコンソール スイッチは自動的にポート（サーバ）を順番にスキャンします。HP IPコンソール スイッチに接続されているすべてのサーバのリストから最大16台のサーバを選択できます。適切なボタンをクリックすることによって、サーバの[ナマエ]順または[EID]番号順でリストを表示することができます。スキャン リストに追加する各サーバの横のチェックボックスを選択して、スキャン リストを作成してください。スキャン リストを作成しても、スキャン モードは開始されません。[コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）の[スキャン ユウコウカ]チェックボックスを使用してスキャン モードを有効にする必要があります。

[スキャン]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[スキャン]**の順にクリックします。[スキャン]ダイアログ ボックスが表示されます。



[スキャン]リストへのサーバの追加

1. [スキャン]ダイアログ ボックス（63ページの「スキャン モードの起動」を参照）から、スキャン リストに追加するサーバの横のチェックボックスを選択します。

 -または-

 サーバ名またはポートをダブルクリックします。

 -または-

 Altキーとスキャンしたいサーバの番号を押します。最大16台のサーバを選択できます。

2. [スキャン ジカン]ボックスで、サーバを順番にスキャンする時間間隔（3～99秒）を入力します。

3. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

 -または-

 [クリア]をクリックしてスキャン リストからすべてのサーバを削除します。

 重要：スキャン リストに追加するサーバの横のチェックボックスを選択するとスキャン リストが作成されますが、スキャン リストを作成しても、スキャン モードは開始されません。スキャン モードを開始するには、[コマンド]ダイアログ ボックスの[スキャン ユウコウカ]チェックボックスを使用してスキャン モードを有効にする必要があります。

 注：[デバイスノ シュウセイ]ダイアログ ボックスからサーバを削除すると、この変更がカスタム スキャン パターンに影響する場合があります。

[スキャン]リストからのサーバの削除

1. [スキャン]ダイアログ ボックス（63ページの「スキャン モードの起動」を参照）で、削除したいサーバをクリックします。

 -または-

 サーバ名またはポートをダブルクリックします。

 -または-

 [クリア]をクリックしてスキャン リストからすべてのサーバを削除します。

2. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

スキャン モードの起動

1. [コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[スキャン ユウコウカ]**を選択します。
2. **[X]**をクリックして[コマンド]ダイアログ ボックスを閉じます。

 注 : スキャンは、**[スキャン]**をクリックするとすぐに開始されます。

スキャン モードの停止

サーバを選択します（OSDが開いている場合）。

-または-

マウスを動かすか、任意のキーを押します（OSDが開いていない場合）。現在選択されているサーバでスキャン モードが停止します。

-または-

[コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[スキャン ユウコウカ]**の選択を解除します。ローカル ポートで動作中のすべての接続が切断されます。

ローカル コンソール スイッチのセキュリティの設定

OSDを使用すると、ローカル ポート コンソールでセキュリティを設定できます。指定時間の経過後もHP IPコンソール スイッチが使用されていない場合に起動するスクリーン セーバ モードを確立できます。スクリーン セーバ モードに入ると、任意のキーを押すか、マウスを動かすまで、HP IPコンソール スイッチがロックされます。スクリーン セーバ モードを出たら、パスワードを入力してログインできます。

[セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）を使用すると、HP IPコンソール スイッチをパスワードで保護したり、パスワードを設定/変更したり、スクリーン セーバを有効にしたりすることができます。

注 : パスワードがすでに設定されている場合は、パスワードを入力しないと、[セキュリティ]ダイアログ ボックスにアクセスできません。

[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[セキュリティ]**の順にクリックします。[セキュリティ]ダイアログ ボックスが表示されます。



パスワードの変更

1. [セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[アタラシイ パスワード]**フィールドをクリックして**Enter**キーを押す（OSDが開いていない場合）か、**[アタラシイ パスワード]**フィールドをダブルクリックします。
2. [アタラシイ パスワード]フィールドに新しいパスワードを入力し、**Enter**キーを押します。
3. [カクニンノ パスワード]フィールドにパスワードを再入力し、**Enter**キーを押します。
4. **[OK]**をクリックしてパスワードを変更します。

重要：有効なパスワードは、5～15文字の英数字です。使用できる文字は、a～z、A～Z、0～9、スペース、ハイフンです。

パスワード保護の設定

1. [セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、上記の手順（65ページの「パスワードの変更」を参照）に従ってパスワードを設定します。
2. **[スクリーン セーバ ユウコウカ]**を選択します。
3. [マチジカン]に、パスワード保護とスクリーン セーバ機能を起動するまでの時間（1～99分）を入力します。
4. モニタがEnergy Star®準拠の場合は[モード]に**[エナジー]**を選択し、そうでない場合は**[スクリーン]**を選択します。
5. （オプション）**[テスト]**をクリックして、スクリーン セーバ テストを起動します。テストは10秒で終了し、[セキュリティ]ダイアログ ボックスに戻ります。
6. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

注意：モニタがEnergy Star®準拠でない場合、エナジー モードを使用するとモニタが破損する場合があります。

HP IP コンソール スイッチへのログオン

1. 任意のキーを押すか、マウスを動かします。[パスワード]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. パスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。

3. **Print Scrn**キーを押します。

パスワード保護の削除

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[セッテイ]**、**[セキュリティ]**の順にクリックします。[パスワード]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. パスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。
3. [セキュリティ]ダイアログ ボックスで、**[アタラシイ パスワード]**フィールドをクリックし、**Enter**キーを押します。

 -または-

 [アタラシイ パスワード]フィールドをダブルクリックし、**[アタラシイ パスワード]**フィールドを空白のまま残して、**Enter**キーを押します。
4. **[カクニンノ パスワード]**フィールドをクリックし、**Enter**キーを押します。

 -または-

 [カクニンノ パスワード]フィールドをダブルクリックし、[カクニンノ パスワード]フィールドを空白のまま残して、**Enter**キーを押します。
5. パスワードを削除したい場合は、**[OK]**をクリックします。

スクリーン セーバ モードの終了

スクリーン セーバ モードを終了するには、任意のキーを押すか、マウスを動かします。[メイン]ダイアログ ボックスが表示されます。

スクリーン セーバの無効化

1. [セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[スクリーン セーバ ユウコウカ]**の選択を解除します。
2. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

スクリーン セーバをただちに起動にするには、**Print Scrn**キーを押して、**Pause**キーを押します。このコマンドは、ユーザがサーバに接続しているときにだけ動作します。

パスワード保護のないスクリーン セーバ モードの起動

1. ご使用のHP IPコンソール スイッチで、[セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）にアクセスする際にパスワードの入力を求められない場合は、手順2に進みます。

 -または-

 ご使用のHP IPコンソール スイッチがパスワードで保護されている場合は、「スクリーン セーバの無効化」（66ページ）を参照して、手順2に進みます。

2. **[スクリーン セーバ ユウコウカ]**を選択します。
3. [マチジカン]に、スクリーン セーバを起動するまでの時間（1～99分）を入力します。
4. モニタがEnergy Star®準拠の場合は**[エナジー]**を選択し、そうでない場合は**[スクリーン]**を選択します。
5. （オプション）**[テスト]**をクリックして、スクリーン セーバ テストを起動します。テストは10秒で終了し、[セキュリティ]ダイアログ ボックスに戻ります。
6. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

注意：モニタがEnergy Star®準拠でない場合、エナジー モードを使用するとモニタが破損する場合があります。

注：スクリーン セーバ モードが有効になってユーザがサーバから切断されると、どのサーバも選択されていない状態になります。ステータス フラグにはFreeが表示されます。

OSD によるサーバ タスクの管理

OSDを使用して、[コマンド]ダイアログ ボックス（68ページの「[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）からHP IPコンソール スイッチ システムを管理できます。これには、スキャン モード（63ページの「スキャン モードの起動」を参照）およびブロードキャスト モード（61ページの「[ブロードキャスト]ダイアログ ボックスの起動」を参照）の起動、ユーザ接続の管理、診断の実行、ファームウェアの更新などが含まれます。

機能	目的
ブロードキャスト ユウコウカ	サーバへのブロードキャストを開始します。[セッテイ]ダイアログ ボックスでブロードキャスト用のサーバ リストを設定してください。

機能	目的
スキャン ユウコウカ	サーバのスキャンを開始します。[セッテイ]ダイアログ ボックスでスキャン用のリストを設定してください。
ユーザジョウタイ	ユーザが、ユーザを表示/切断できるようにします。
IAステータス	複数のインタフェース アダプタを同時にアップグレードします。
バージョンノ ヒョウジ	コンソール スイッチのバージョン情報や各インタフェース アダプタのファームウェア情報を表示します。また、ユーザが、個々のインタフェース アダプタ ファームウェアをアップグレードできるようにします。
シンダンノ ジッコウ	システムの整合性を検査します。これには、メモリ、ファームウェアのCRC、通信インタフェース、スイッチ コントローラ、ローカル/リモート ビデオ、インタフェース アダプタなどが含まれます。
PS/2ノ リセット	PS/2キーボードおよびマウス機能を再確立します。

[コマンド]ダイアログ ボックスへのアクセス

[メイン]ダイアログ ボックスで、**[コマンド]**をクリックします。[コマンド]ダイアログ ボックスが表示されます。



ユーザ接続の表示および切断

[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックス（69ページの「現在のユーザ接続の表示」を参照）からリモート ネットワーク ユーザを表示したり、切断したりできます。ユーザ名（U）は常に表示されます。ただし、ユーザが接続されているサーバ名またはインタフェース アダプタのID番号も表示できます。[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックスには、システムがサポートしているユーザ数だけが表示されます。現在チャネルに接続されているユーザがいない場合、フィールドは空白になり、サーバはFreeと表示されます。

現在のユーザ接続の表示

[メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[ユーザジョウタイ]**の順にクリックします。[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックスが表示されます。



ユーザの切断

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[ユーザジョウタイ]**の順にクリックします。[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. 切断するユーザ名をクリックします。[セツゾクカイジョ]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. **[OK]**をクリックしてユーザを切断し、[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックスに戻ります。

 -または-

 [X]をクリックするか**Esc**キーを押して、ユーザを切断せずにダイアログ ボックスを終了します。

 重要：[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックスが最後に表示されてから変化した場合、リストが自動的に更新されるとき、マウス カーソルが砂時計になります。リストの更新が完了するまで、マウスやキーボードの入力は受け付けられません。

システム診断の実行

[シンダンノ ジッコウ]（72ページの「[シンダンノ ジッコウ]の起動」を参照）をクリックすると、各システム コントローラのメイン ボード機能サブシステム（メモリ、ボード内通信、HP IPコンソール スイッチ制御、およびビデオ チャネル）をチェックするコマンドが実行されます。

テスト	説明
メモリー テスト	メイン ボードのRAMの状態をレポートします。このインジケータは、システムの再起動時に実行されたメモリ テストの結果を表示します。

テスト	説明
ファームウェアCRC	各ファームウェア イメージのCRC値を比較し、その結果を期待値と比較することによって、システムのフラッシュ メモリに保存されている現在のファームウェア イメージを検査します。
ツウシン インターフェイス	通信コントローラへの問い合わせと基本レジスタ レベル テストの実行によって、ボード内通信サブシステムがアクセス可能で正常に機能することを検査します。
スイッチ コントローラー	スイッチ マトリクス コントローラへの問い合わせと基本レジスタ レベル テストの実行によって、スイッチ マトリクス コントローラがアクセス可能で正常に機能することを検査します。
ローカル ビデオ/リモート ユーザ ビデオ	すべてのビデオ チャネル サブシステムがアクセス可能であり、正常に機能し、基本レジスタ レベル テストを実行することを検査します。
LANセツゾク	リンク コントローラが応答することを検査し、ネットワーク トラフィックを監視することによって、LAN接続がアクセス可能で正常に機能することを検査します。 • リンク コントローラが応答すると、テスト合格インジケータが表示されます。 • リンク コントローラが応答しないと、テスト不合格インジケータが表示されます。 • リンク コントローラが正常に機能するのにネットワーク トラフィックが受信されない場合は、インジケータが表示されます。
オンラインIA	現在接続され、電源が入っているインタフェース アダプタの総数が示されます。
オフラインIA	過去に正常に接続されており、現在は電源が入っていないインタフェース アダプタの数が示されます。
ギモンノアルIA	検出されるが、接続に使用できないか、pingテストでパケットが落ちたインタフェース アダプタの数を示します。

[シンダンノ ジッコウ]の起動

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[シンダンノ ジッコウ]**の順にクリックします。すべてのユーザが切断されることを示す警告メッセージが表示されます。



2. **[OK]**をクリックして開始します。すべてのユーザが切断され、[シンダン]ダイアログ ボックスが表示されます。

 -または-

[X]をクリックするか**Esc**キーを押して、診断テストを実行せずにダイアログ ボックスを終了します。



3. 各テストが終了すると、合格または不合格インジケータが表示されます。

 テストの合格は緑色の丸で示され、テストの不合格は赤色のXで示されます。LAN接続には、LAN接続が正常に機能するのにネットワーク トラフィックが受信されないことを示す3つ目のインジケータがあります。最後のテストのインジケータが表示されると、テストは完了です。

4. （オプション）オフラインのインタフェース アダプタがある場合は、**[クリア]**をクリックしてそれらをリストから削除することができます。

5. （オプション）異常なインタフェース アダプタがある場合は、**[ヒョウジ]**をクリックできます。[ギモンノアル IA]ダイアログ ボックスが表示されます。



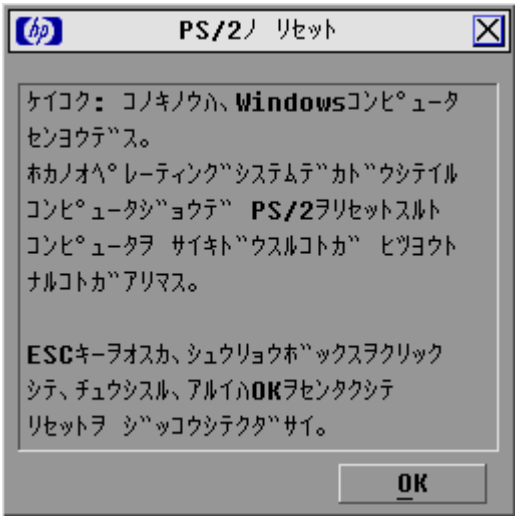
PS/2マウス接続の再設定

PS/2マウスがロックした場合、リセット コマンドを発行すると、これらの周辺機器の動作を再確立できます。リセット コマンドは、キー シーケンスをサーバに送信し、その結果、マウスの設定がコンソール スイッチに送信されます。サーバとコンソール スイッチの間の通信が再確立されると、操作を再開できます。

> **注:** この機能は、Microsoft® Windows®ベース コンピュータ専用です。他のオペレーティング システムで動作するコンピュータのPS/2マウス接続を再設定すると、コンピュータを再起動しなければならない場合があります。

1. [メイン]ダイアログ ボックスで、**[コマンド]**をクリックします。[コマンド]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. **[PS/2ノ リセット]**をクリックします。警告メッセージが表示されます。



3. **[OK]**をクリックします。マウスが再設定されたことを示すメッセージが表示されます。
4. **[X]**をクリックするか**Esc**キーを押して、リセット コマンドをPS/2マウスに送信せずに終了します。

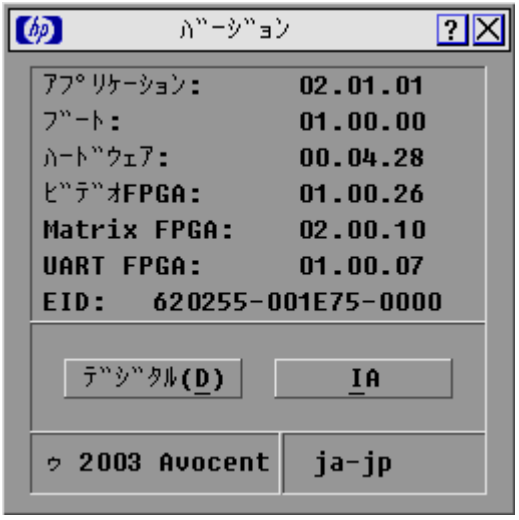
バージョン情報の表示

[バージョン]ダイアログ ボックス（75ページの「[バージョン]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）を使用すると、現在選択されているサーバのキーボードとマウス情報のほか、HP IPコンソール スイッチのバージョンを表示できます。

[バージョン]ダイアログ ボックスへのアクセス

注 : HPのサービス窓口に問い合わせるときは、アプリケーションのバージョン番号を用意してください。

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[バージョン]**の順にクリックします。[バージョン]ダイアログ ボックスが表示されます。ボックスの上半分に、HP IPコンソール スイッチ内のサブシステム バージョンが表示されます。



2. **[デジタル]**をクリックして、IPコンソール ビューアのバージョンを表示します。[デジタル バージョン]ダイアログ ボックスが表示されます。上部に、デジタイザ サブシステムのバージョンが表示されます。中央に、現在のネットワーク設定が表示されます。



3. **[IA]**をクリックして[IAセンタク]ダイアログ ボックスにアクセスし、個々のインタフェース アダプタ ケーブルのバージョン情報を表示します。[IAセンタク]ダイアログ ボックスが表示されます。



4. 選択されているインタフェース アダプタ ケーブルを表示するには、**[バージョン]**をクリックします。[IAバージョン]ダイアログ ボックスが表示されます。



5. **[X]**をクリックして終了します。

TFTPによるファームウェアのアップグレード

この項の目次

概要 79
HP IPコンソール スイッチの更新 83
LAN接続の確立 86
FLASHファームウェアのアップグレード 87
インタフェース アダプタのファームウェアの更新 89

概要

HP IPコンソール スイッチのフラッシュ アップグレード機能を使用すると、最新のファームウェアにアップグレードできます。

HP IPコンソール スイッチを更新するには、アップグレードを実行する端末やPCにTFTPサーバが必要です。TFTPを有効にしてから、FLASHファームウェア（87ページの「FLASHファームウェアのアップグレード」を参照）をアップグレードし、HP IPコンソール スイッチのファームウェアを更新します。

Windows NT用のTFTPの有効化

1. 空のディレクトリにNT_TFTP3.3.ZIPを抽出します。
2. **[スタート]**メニューから、**[設定]**、**[コントロール パネル]**の順に選択します。
3. **[ネットワーク]**をダブルクリックします。
4. **[サービス]**、**[追加]**の順にクリックします。
5. **[ディスク使用]**をクリックします。
6. [ディスクの挿入]ボックスに、抽出したファイルが存在するパスを入力します。
7. [OEMオプションの選択]ページで、**[OK]**をクリックします。
8. [サービス]リストに製品名が表示されたら、**[閉じる]**をクリックします。
9. **[はい]**をクリックして再起動します。

Windows 2000およびWindows XP用のTFTPの有効化

1. 空のディレクトリにW2K_TFTP3.3.ZIPを抽出します。
2. [スタート]メニューから、**[設定]**、**[コントロール パネル]**の順に選択します。
3. **[アプリケーションの追加と削除]**をダブルクリックします。
4. **[プログラムの追加]**、**[CDまたはフロッピー]**の順にクリックします。[フロッピー ディスクまたはCD-ROMからのインストール]ウィザード画面に表示される指示に従います。
5. [インストール プログラムの実行]ページの[開く]ボックスに、抽出されたファイルが存在するパスを入力します。
6. [EqmTFTPS Setup]ページから、**[Install]**をクリックします。
7. **[Finish]**をクリックします。
8. [プログラムの追加と削除]ページから、**[閉じる]**をクリックします。

Linux用のTFTPの有効化

RPMパッケージを使用するほとんどのシステムでは、TFTPサーバRPM（RPM-IVH/Redhat/RPMS/）がTFTPを提供しています。配布タイプによっては、インターネット サービス デーモンはxinetdが提供しています。

1. GNOMEビューアで、メイン メニューに移動し、**[サーバ設定]**、**[サービス]**の順に選択します。
2. [サービスの設定]メニューで、[xinetd]チェックボックスが選択されてシステムの起動時に起動するようになっていることを確認します。

 -または-

 このチェックボックスが選択されていない場合は、選択して、**[Save]**をクリックします。
3. サービスのリストにあるTFTPを確認し、強調表示します。
4. システムの起動時にTFTPが起動するように、チェックボックスを選択して、**[Save]**をクリックします。

Linux用のTFTPの確認

1. TFTP localhost（またはローカル システムの名前）と入力します。
2. `etc/tftpboot/filename`と入力してファイルをダウンロードします。
3. 終了します。

TFTPが正しく設定されている場合、上記の手順で現在のディレクトリにファイルが転送されるはずです。

Microsoft Windows用のTFTPの設定

1. Microsoft® Windows NT® 4.0用の[Secure TFTP Service]ページ（82ページの「Microsoft Windows NT用の[Secure TFTP Service]ページへのアクセス」を参照）にアクセスします。

 -または-

 Microsoft® Windows® 2000およびMicrosoft® Windows® XP用の[Secure TFTP Service]ページ（82ページの「Microsoft Windows 2000およびMicrosoft Windows XP用の[Secure TFTP Service]ページへのアクセス」を参照）にアクセスします。

2. 読み取りアクセス権または書き込みアクセス権を持つディレクトリのデフォルト設定を使用することができます。デフォルト設定を使用するには、**[Use Default Settings]**を選択して、**[Exit]**をクリックします。

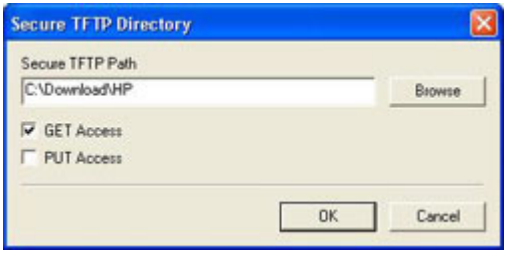
 設定値をカスタマイズするには、**[Customize Settings]**を選択します。

 a. ディレクトリを追加するには、**[Add]**をクリックします。[Secure TFTP Directory]ダイアログ ボックスが表示されます。

 b. ディレクトリのパス名を入力するか、**[Browse]**をクリックしてディレクトリを選択し、**[OK]**をクリックします。

 c. そのディレクトリへの読み取りアクセス権または書き込みアクセス権を有効にするには、**[GET Access]**または**[PUT Access]**チェックボックスを選択します。

 d. **[OK]**をクリックします。追加したディレクトリがリストに表示されます。



3. ディレクトリ リストにある既存の項目を変更するには、[Path]カラムでディレクトリ名を選択します。

 a. 項目を削除するには、**[Remove]**、**[Exit]**の順にクリックします。

b. 項目のアクセス権を変更するには、[GET]カラムまたは[PUT]カラムにある適切なチェックボックスを選択します。

c. 項目のパス名を変更するには、**[Modify]**をクリックして希望するディレクトリのパス名を入力するか、**[Browse]**をクリックしてディレクトリを選択します。

d. **[Exit]**、**[Close]**の順にクリックします。

Microsoft Windows NT用の[Secure TFTP Service]ページへのアクセス

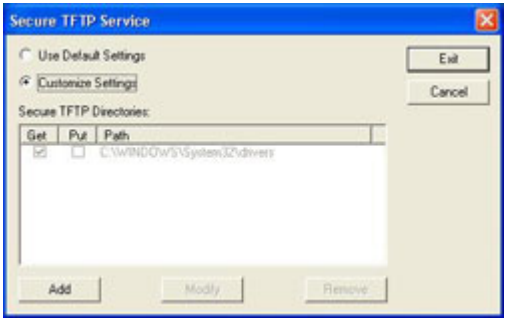
Microsoft® Windows NT® 4.0用の[Secure TFTP Service]ページにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. [スタート]メニューから、**[設定]**、**[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ネットワーク]**をダブルクリックします。
3. **[サービス]**をクリックします。
4. [ネットワーク サービス]リストから、**[Secure TFTP Service]**を選択し、**[Properties]**をクリックします。[Secure TFTP Service]ウィンドウが表示されます。

Microsoft Windows 2000およびMicrosoft Windows XP用の[Secure TFTP Service]ページへのアクセス

Microsoft® Windows® 2000およびMicrosoft® Windows® XP用の[Secure TFTP Service]ページにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

1. [スタート]メニューから、**[ファイル名を指定して実行]**を選択します。
2. ダイアログ ボックスが表示されたら、[名前]フィールドに`eqmtftpc`と入力して、**[OK]**をクリックします。[Secure TFTP Service]ウィンドウが表示されます。

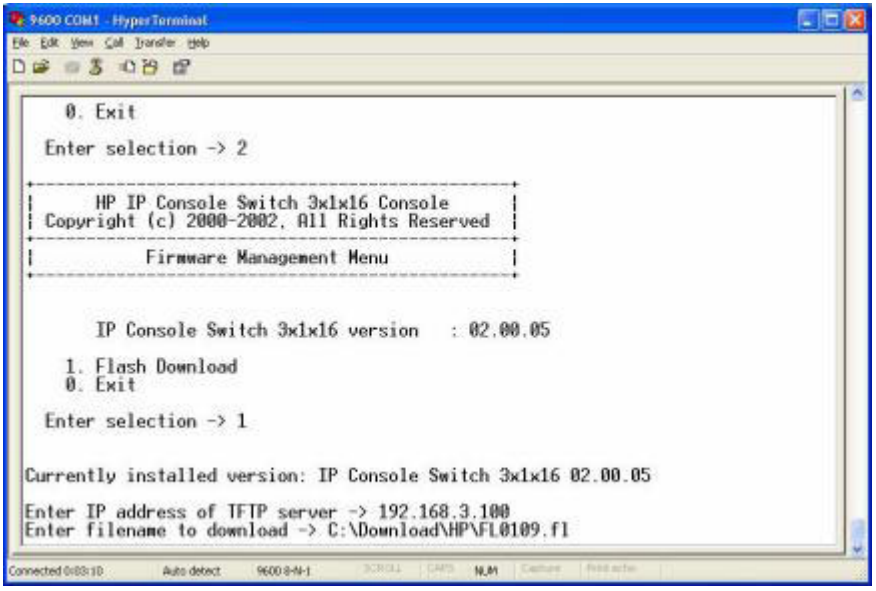


HP IPコンソール スイッチの更新

更新を実行する前に、Secure TFTP Serverがインストールされ、更新するファイルが入っているフォルダの読み取りアクセス権が選択されていることを確認してください。また、HP IPコンソール スイッチが、更新に使用するコンピュータと同一のネットワークに存在することを確認してください。

HP IPコンソール スイッチのハードウェアの更新

1. HP IPコンソール スイッチからローカル表示したいサーバの使用できるCOMポートに、シリアル ケーブルの一方の端を接続します。
2. HP IPコンソール スイッチのシリアル ダウンロード コネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）に、シリアル ケーブルの他方の端を接続します。
3. 同梱の電源コードをHP IPコンソール スイッチの電源コード コネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）に接続し、有効な電源コンセントに接続します。
4. HP IPコンソール スイッチの電源を入れます。動作インジケータLED（9ページの「コンポーネント」を参照）が点灯します。動作インジケータが30秒間点滅し、その間にセルフテストが実行されます。動作インジケータの点滅が停止したら、約10秒間待ってから**Enter**キーを押してメイン メニューにアクセスします。
5. Microsoft® Windows®用ハイパーターミナル（22ページの「ハイパーターミナルの設定」を参照）やLinux®用Minicom（23ページの「Minicomの設定」を参照）のようなサーバ用端末エミュレーション ソフトウェアを設定します。
6. **[Option 2 - Firmware Management]**を選択します。[Firmware Management]メニューが表示されます。



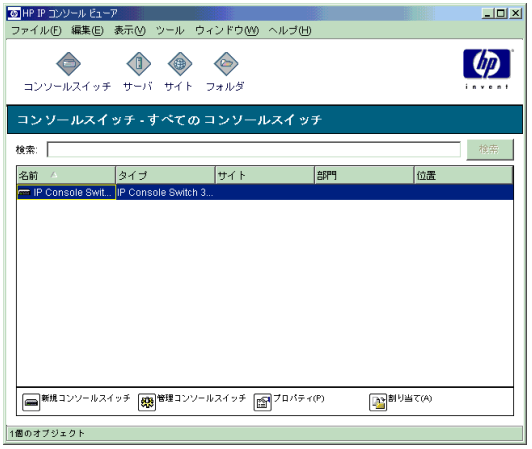
7. **[Option 1 - Flash Download]**を選択します。
8. 更新ファイルを持っているTFTPサーバのIPアドレスと更新ファイルの正確なパス（たとえば、C:¥Download¥HP¥FL0109.fl）を入力します。
9. プロンプトにYと入力して、指定したIPアドレスからアップグレード ファイルをダウンロードします。HP IPコンソール スイッチのアップグレードが開始します。

注意：このプロセス中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切らないでください。電源を切ると、HP IPコンソール スイッチが動作しなくなり、修理のために返送する必要が生じます。更新は10分以内に完了しますので、それまで待ってください。

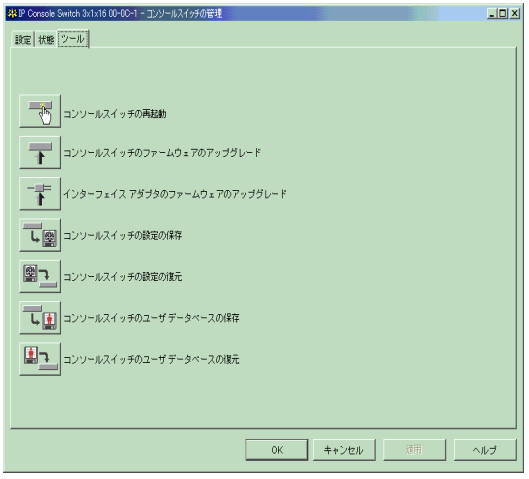
アップグレード プロセスが完了すると、HP IPコンソール スイッチが再起動します。[IP Console Switch is ready]というメッセージが表示されます。

IPコンソール ビューアによるHP IPコンソール スイッチの更新

1. IPコンソール スイッチを選択し、**[管理コンソールスイッチ]**アイコンをクリックします。[HP IPコンソール ビューア]ウィンドウが表示されます。



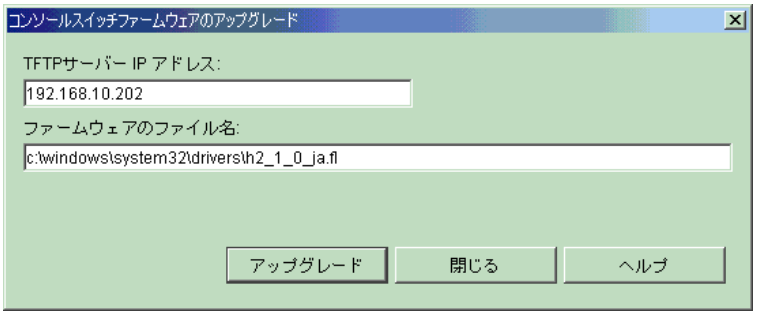
2. **[ツール]**タブを選択し、**[コンソールスイッチのファームウェアのアップグレード]**アイコンをクリックします。



3. （オプション）[TFTPサーバーIPアドレス]フィールドに、更新が存在するコンピュータのIPアドレスを入力します。

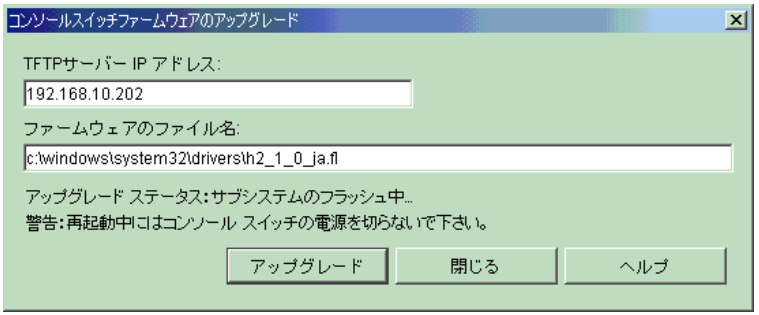
4. （オプション）[ファームウェアのファイル名]フィールドに、更新ファイルの完全パス（たとえば、C:¥Download¥HP¥FL0109.fl）を入力します。

注: Linux®オペレーティング システムの場合、パス名は不要ですが、ファームウェア イメージがTFTPBootフォルダに保存されている必要があります。



5. **[アップグレード]**をクリックします。

注意：このプロセス中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切らないでください。電源を切ると、HP IPコンソール スイッチが動作しなくなり、修理のために返送する必要が生じます。更新は10分以内に完了しますので、それまで待ってください。



6. アップグレードが完了したら、**[閉じる]**をクリックしてHP IPコンソール スイッチを再起動します。再起動後、[ファームウェア アップグレードは正しく実行されました。コンソール スイッチの準備が整いました。]というメッセージが表示されます。

LAN接続の確立

注：10Base-T Ethernetも使用できますが、性能の向上のために専用のスイッチ100Base-Tネットワークをおすすめします。

HP IPコンソール スイッチのリア パネルにあるLANポートからネットワーク ケーブルをネットワークに接続し、接続されているすべてのシステムの電源を入れます。現在HP IPコンソール スイッチ システムで使用できるネットワーク ポートは、2068、8192、3211、161です。

FLASHファームウェアのアップグレード

注：最新のFLASHファームウェアは、HPのWebサイトhttp://h18004.www1.hp.com/products/servers/proliantstorage/rack-options/list.html（英語）から入手できます。

1. HP IPコンソール スイッチの設定（シリアル）ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）に、（ハイパーターミナル（22ページの「ハイパーターミナルの設定」を参照）のような）端末エミュレーション ソフトウェアを実行している端末またはPCを接続します。端末は、9600ボー、8ビット、1ストップ ビット、パリティなし、およびフロー制御なしに設定されている必要があります。
2. ネットワーク クロスオーバ ケーブルを使用するか、Ethernetハブと標準のCAT5ケーブルを使用して、TFTPサーバとして使用している端末またはPCに、HP IPコンソール スイッチのLANポート（9ページの「コンポーネント」を参照）を直接接続します。
3. サーバ ソフトウェアと端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。
4. HP IPコンソール スイッチの電源が入っていない場合、ここで電源を入れます。約40秒後、HP IPコンソール スイッチが[HP IP Console Ready...]というメッセージを表示します。
5. 任意のキーを押して続行するか、[IPViewer HyperTerminal]ダイアログ ボックスにアクセスします。[IPViewer HyperTerminal]ダイアログ ボックスが表示されます。
6. オペレーティング システム（または単独）のツールから抽出することによって、TFTPサーバのIPアドレスを取得します。
 a. **[マイネットワーク]**を右クリックします。
 b. **[プロパティ]**を選択します。
 c. **[プロトコル]**を選択します。
 d. **[インターネット プロトコル（TCP/IP）]**を選択します。
 e. **[プロパティ]**を選択して、IPアドレスをメモします。
7. 必要なら、HP IPコンソール スイッチにIPアドレスを割り当てます。
 a. [IPViewer HyperTerminal]ダイアログ ボックスで、**[Option - 1 Network Configuration]**を選択します。[Network Configuration]メニューが表示されます。

b. IPコンソール スイッチのIPアドレスをメモします。最初の3桁が手順6で取得したサーバのIPアドレスの最初の3桁と同じでなければなりません。最後の桁は、異なっていなければなりません。

HP IPコンソール スイッチのIPアドレスが正しくない場合は、**[Option - 3 IP Address]**を選択し、正しいIPアドレスを入力して**Enter**キーを押して変更します。

c. **[Option - 0 Exit/Apply changes]**を選択して[Network Configuration]メニューを終了します。IPアドレスを変更した場合は、ウィンドウの指示を待ちます。

d. IPアドレスを変更した場合、それに合わせてTFTPサーバ ソフトウェアでHP IPコンソール スイッチのIPアドレスを変更します。

8. [IPViewer HyperTerminal]ダイアログ ボックスで、**[Option - 2 Firmware Management]**を選択します。[Firmware Management]メニューと現在のファームウェア バージョンが表示されます。

9. [Firmware Management]メニューから、**[Option - 1 Flash Download]**を選択します。

10. TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

11. FLASHファイルのパスと名前（たとえば、HP IPコンソールのファームウェア バージョンX.X.X）を入力し、**Enter**キーを押します。

注：Linux®オペレーティング システムの場合、パス名は不要ですが、ファームウェア イメージがTFTPBootフォルダに保存されている必要があります。

12. Yと入力し、**Enter**キーを押してTFTPダウンロードを確認します。

13. HP IPコンソール スイッチがダウンロードを確認します。Yと入力してアップグレードを確認し、**Enter**キーを押します。

HP IPコンソール スイッチが、FLASHアップグレード プロセスを開始します。画面のインジケータに、アップグレード プロセスが表示されます。アップロードが完了すると、HP IPコンソール スイッチがリセットされ、内部サブシステムがアップグレードされます。このプロセスは数分で終了します。アップグレードが完了すると、[IPViewer HyperTerminal]ダイアログ ボックスに手順4からの起動メッセージが表示されます。



注意：このプロセス中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切らないでください。電源を切ると、HP IPコンソール スイッチが動作しなくなり、修理のために返送する必要が生じます。更新は10分以内に完了しますので、それまで待ってください。

14. **[X]**をクリックして[IPViewer HyperTerminal]ウィンドウを終了します。

FLASHの失敗の分析

FLASH更新は失敗する場合があります。問題が発生するとエラー メッセージを返すHP IPコンソール スイッチとは異なり、FLASH更新では、失敗を直接示すインジケータはありません。

FLASH更新が失敗した場合は、更新の次の点を確認してください。

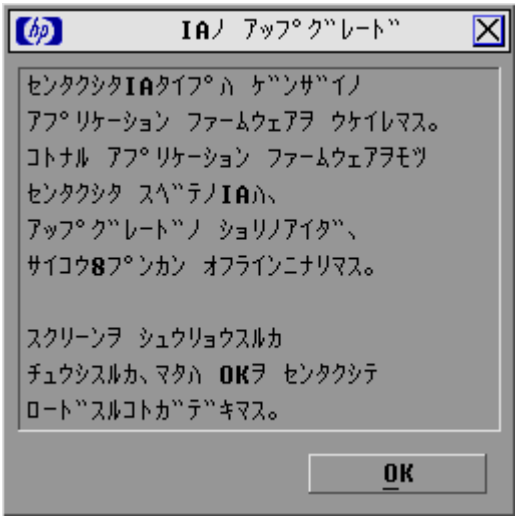
- TFTPが正しく設定されている必要があります。TFTPは、信頼性の低い送信手段です。ネットワークのビジー状態によってパケットが消失し、更新が失敗する場合があります。
- tftpログ ファイルの/var/log/secureが安全な場所にある必要があります。ログには、tftpd接続が正しく確立されたかどうか、異常があったかどうかが記録されています。
- イメージ ファイルの正しいパス名が使用されている必要があります。

インタフェース アダプタのファームウェアの更新

インタフェース アダプタのファームウェアの更新には、同時に更新する方法（89ページの「インタフェース アダプタ のファームウェアの同時更新」を参照）と個別に更新する方法（90ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの個別更新」を参照）があります。ファームウェアの更新中は、インタフェース アダプタに接続されているサーバの電源が入っていなければなりません。

インタフェース アダプタのファームウェアの同時更新

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[IAステータス]**の順にクリックします。[IAステータス]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. **[PS/2]**または**[USB]**を選択し、**[アップグレード]**をクリックします。[IAノ アップグレード]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. **[OK]**をクリックして設定を保存します。
4. **Esc**キーを押して、[メイン]ダイアログ ボックスに戻ります。アップグレードの進行中、OSDのインジケータが黄色で表示されます。アップグレードが完了すると、OSDのインジケータが赤色に変化し、緑色に変化します。

 注：続行する前に、OSDのインジケータが緑色に変化するまで待ってください。

インタフェース アダプタのファームウェアの個別更新

1. [メイン]ダイアログ ボックスから、**[コマンド]**、**[バージョン]**の順にクリックします。[バージョン]ダイアログ ボックスが表示されます。

2. **[IA]**をクリックします。[IAセンタク]ダイアログ ボックスが表示されます。



3. 個々のインタフェース アダプタを選択し、**[バージョン]**をクリックします。[IAバージョン]ダイアログ ボックスが表示されます。

4. **[ファームウェアノ ロード]**をクリックします。

トラブルシューティング

この項の目次

動作インジケータLEDが点灯しない場合 93
ケーブルが正しく接続されていない場合 94
カスケード接続コンソール スイッチ構成が正しくない場合 94
コンソール スイッチに正しいファームウェアがインストールされていない場合 95
コンソール スイッチが正常に動作しない場合 95
コンソール スイッチを再起動するとハングする場合 95
コンソール スイッチのシリアル ポート パスワードを忘れた場合 96
拡張モジュールがCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチに認識されない場合 96
ローカルOSDコンソール スイッチ パスワードを忘れた場合 96
ローカル ユーザがOSDの著作権表記を表示できない場合 96
ローカル ユーザがOSDフラグを表示できない場合 97
UNIXベース プラットフォームで[PS/2ノ リセット]ボタンを押すとマウスとキーボードが機能しなくなる場合 97
マウスの位置が揃わない場合 97
"Mouse and keyboard have been reset"というメッセージが表示されてOSDが空白になる場合 97
OSDが歪んだり、文字が読めない場合 97
OSDにアクセスできない場合 98
HP IPコンソール スイッチとともに使用するとRILOEやiLOが正常に動作しない場合 98
診断テストを実行できない場合 98
スクリーン セーバが起動しない場合 98
接続を切断したサーバがリストに表示される場合 98
カスケード接続されているコンソール スイッチがシステムに認識されない場合 99
画面が緑色または赤色だけで表示される場合 99
ビデオ解像度を正しく設定できない場合 99
接続距離に関する表 99

動作インジケータ LED が点灯しない場合

1. HP IPコンソール スイッチの電源が入っており、電源コンセントが有効であることを確認します。
2. ケーブルが正しく接続されていることを確認します。

ケーブルが正しく接続されていない場合

1. コンソール スイッチ、UTP CAT5ケーブル、インタフェース アダプタ、拡張モジュール、およびサーバの間のすべてのケーブル接続を確認します。
2. インタフェース アダプタのコネクタが、接続されているサーバの適切なポートに接続されていることを確認します。
3. 適切なインタフェース アダプタが使用されていることを確認します。この製品には、HP製のインタフェース アダプタしか使用できません。
4. インタフェース アダプタのRJ-45ポートとコンソール スイッチのリア パネルにある適切なサーバ ポート（9ページの「コンポーネント」を参照）がUTP CAT5ケーブルによって接続されていることを確認します。
5. 適切な長さのUTP CAT5ケーブルが使用されていることを確認します（99ページの「接続距離に関する表」を参照）。
6. HPによって提供されている標準のUTP CAT5ケーブルが使用されていることを確認します。使用されるケーブルは、UTP（非シールド ツイストペア）ケーブルであり、4組の対になっている電線がすべて使用されている必要があります。
7. 拡張モジュールを使用している場合は、コンソール スイッチが拡張モジュールのINポートに接続されていることを確認します。拡張モジュールのOUTポートは、インタフェース アダプタを使用して、接続サーバに接続される必要があります。

カスケード接続コンソール スイッチ構成が正しくない場合

1. HP IPコンソール スイッチ構成が正しいことを確認します。
2. カスケード接続構成（33ページの「コンソール スイッチのカスケード接続」を参照）が正しいことを確認します。
3. カスケード接続されているコンソール スイッチの電源が入っていることを確認します。

 重要：ファームウェアの更新中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切ったり、コンソール スイッチを操作したりしないでください。

4. カスケード接続されているコンソール スイッチのファームウェアと、接続されているすべてのインタフェース アダプタ（89ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの更新」を参照）のファームウェアが更新されていることを確認します。

コンソール スイッチに正しいファームウェアがインストールされていない場合

重要：ファームウェアの更新中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切ったり、コンソール スイッチを操作したりしないでください。

1. コンソール スイッチとインタフェース アダプタのファームウェアが最新バージョンであることを確認します（75ページの「バージョン情報の表示」を参照）。
2. コンソール スイッチ、インタフェース アダプタ（89ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの更新」を参照）、およびカスケード接続されているコンソール スイッチのファームウェアを更新します（最新バージョンのファームウェアがインストールされていない場合）。

コンソール スイッチが正常に動作しない場合

1. コンソール スイッチが動作可能かどうかを確認します（105ページの「コンソール スイッチは動作可能ですか」を参照）。
2. すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

コンソール スイッチを再起動するとハングする場合

1. HP IPコンソール スイッチを再起動します（電源を切って、入れなおします）。
2. 次の電源投入シーケンスを実行します。
 a. カスケード接続されているすべてのコンソール スイッチの電源を入れます。
 b. HP IPコンソール スイッチの電源を入れます。動作インジケータLEDが点灯します。
 c. モニタの電源を入れます。
 d. サーバの電源を入れます。

コンソール スイッチのシリアル ポート パスワードを忘れた場合

データのセキュリティに関する最終的な責任は、ユーザに帰属します。シリアル ポート パスワードを設定して、忘れてしまった場合は、修理のためにコンソール スイッチをHPに返送してください（その際の費用は、ユーザ側のご負担になります）。

拡張モジュールがCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチに認識されない場合

拡張モジュールが、カスケード接続されたCompaqブランドのサーバ コンソール スイッチとともに使用されているかどうかを確認します。拡張モジュールは1層のカスケード接続と見なされます（33ページの「コンソール スイッチのカスケード接続」を参照）。このため、Compaqブランドのサーバ コンソール スイッチと組み合わせて使用することはできません。

ローカルOSDコンソール スイッチ パスワードを忘れた場合

データのセキュリティに関する最終的な責任は、ユーザに帰属します。ローカルOSDコンソール スイッチ パスワードを設定して、忘れてしまった場合は、HPのサービス窓口に連絡して、HP EPR Teamへのエスカレーション サービス（最上位のエスカレーション）を依頼してください。

ローカル ユーザがOSDの著作権表記を表示できない場合

1. 電源コンセントが有効であることを確認します。
2. ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. モニタが有効であることを確認します。

ローカル ユーザがOSDフラグを表示できない場合

OSDで選択されている設定をチェックして、ローカル ポート表示が無効になっていないか、タイムアウトが設定されていないかを調べてください。ローカル ポート表示が無効になっていたり、タイムアウトが設定されていると、OSDフラグは表示されません。

UNIXベース プラットフォームで[PS/2ノ リセット]ボタンを押すとマウスとキーボードが機能しなくなる場合

[PS/2ノ リセット]ボタンは、Microsoft® Windows®対応機能です。デスクトップを再起動すると、マウスとキーボードが機能します。

マウスの位置が揃わない場合

コンソール スイッチに付属のCDに収録されている『HP IPコンソール スイッチ ソフトウェア ガイド』を参照してください。

"Mouse and keyboard have been reset"というメッセージが表示されてOSDが空白になる場合

この症状は、カスケード接続された従来のCompaqブランドのコンソール スイッチとHP IPコンソール スイッチを別々のモニタで表示しているとき、マウス/キーボードのRESETボタンを押すと発生します。従来のCompaqブランドのコンソール スイッチで、マウスとキーボードがロックされています。約1分後、従来のCompaqブランドのコンソール スイッチは正常に動作します。

OSDが歪んだり、文字が読めない場合

ターゲット サーバで設定されているモニタが、現在のリフレッシュ レートをサポートしていることを確認してください。

OSDにアクセスできない場合

Ctrlキーを2度押してください。

HP IPコンソール スイッチとともに使用するとRILOEやiLOが正常に動作しない場合

HP IPコンソール スイッチ ファームウェアのバージョンが2.0.6以上である必要があります。

診断テストを実行できない場合

重要：ファームウェアの更新中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切ったり、コンソール スイッチを操作したりしないでください。

1. コンソール スイッチのファームウェアを更新します。
2. インタフェース アダプタのファームウェアを更新します（89ページの「インタフェース アダプタのファームウェアの更新」を参照）。

スクリーン セーバが起動しない場合

スクリーン セーバの設定を決定するには、**[OK]**をクリックする必要があります。**[X]**をクリックするか**Esc**キーを押すと、設定がキャンセルされます。

接続を切断したサーバがリストに表示される場合

[シンダン]ダイアログ ボックスから[シンダンノ ジッコウ]（70ページの「[シンダンノ ジッコウ]を起動」を参照）を起動し、**[クリア]**をクリックしてください。

カスケード接続されているコンソール スイッチがシステムに認識されない場合

重要：ファームウェアの更新中は、HP IPコンソール スイッチの電源を切ったり、コンソール スイッチを操作したりしないでください。

すべてのコンソール スイッチが最新バージョンのファームウェアで更新されていることを確認してください。

画面が緑色または赤色だけで表示される場合

1. UTP CAT5ケーブルを調べて、破損したり圧迫されたりしていないかを確認します。
2. VGAの接続を調べて、折れ曲がったピンがないかどうかを確認します。

ビデオ解像度を正しく設定できない場合

「接続距離に関する表」（99ページ）を参照してください。

接続距離に関する表

HP IPコンソール スイッチのビデオ性能を最適に保つには、サーバとコンソール スイッチ間の距離を約15.24m（75Hz時1280×1024）以内に保ってください。ビデオ解像度を低く設定（60Hz時800×640、最低）すると、システムは、最長30.48mの距離でも動作できます。

	1280×1024	1024×768	800×640
15.24m	○	○	○
22.86m			○
30.48m			○

FAQ（よくある質問）

この項の目次

拡張モジュール ポートはホットプラグ対応ですか。 101
インタフェース アダプタはホットプラグ対応ですか。 101
コンソール スイッチへのキーボード、モニタ、およびマウス接続は、ホットプラグ対応ですか。 102
コンソール スイッチへのサーバ接続はホットプラグ対応ですか。 102
コンソール スイッチは丸穴レールのラックに設置できますか。 102
コンソール スイッチは丸穴レールのラックにサイド マウントできますか。 102
インタフェース アダプタを交換する際にサーバの電源を切る必要がありますか。 102
コンソール スイッチは従来のHP製コンソール スイッチをサポートしていますか。 102
[メイン]ダイアログ ボックスにアクセスする方法を教えてください。 103
コンソール スイッチをカスケード接続する方法を教えてください。 103
キーボードの言語を変更する方法を教えてください。 103
カスケード接続されたコンソール スイッチが接続されているポートを識別する方法を教えてください。 104
カスケード接続されたコンソール スイッチにローカル接続する方法を教えてください。 104
コンソール スイッチのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。 104
インタフェース アダプタのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。 104
スクリーン セーバを無効にする方法を教えてください。 104
[シンダンノ ジッコウ]機能を使用する方法を教えてください。 105
シリアル ダウンロード ポートはホットプラグ対応ですか。 105
コンソール スイッチは動作可能ですか。 105
ケーブルの最小/最大長を教えてください。 105
サポートされているCAT5ケーブルの種類を教えてください。 106
HP IPコンソール スイッチのリモート ユーザがカスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチに接続されているサーバにアクセスできないのはなぜですか。 106

拡張モジュール ポートはホットプラグ対応ですか。

はい。

インタフェース アダプタはホットプラグ対応ですか。

はい。

コンソール スイッチへのキーボード、モニタ、および マウス接続は、ホットプラグ対応ですか。

はい。

コンソール スイッチへのサーバ接続はホットプラグ対応ですか。

はい。

コンソール スイッチは丸穴レールのラックに設置できますか。

はい。HP IPコンソール スイッチは、標準マウントの方法で丸穴レールのラックに設置できます。

コンソール スイッチは丸穴レールのラックにサイド マウントできますか。

いいえ。

インタフェース アダプタを交換する際にサーバの電源を切る必要がありますか。

いいえ。

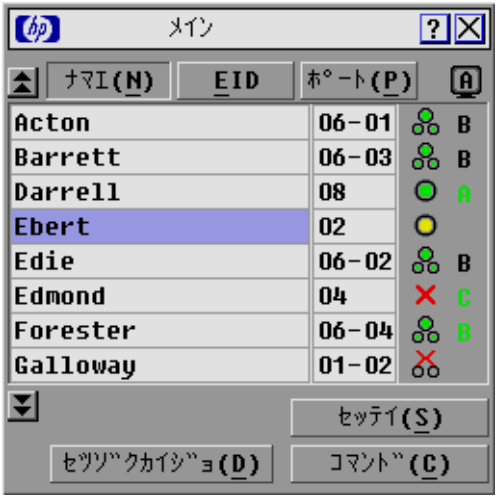
コンソール スイッチは従来のHP製コンソール スイッチをサポートしていますか。

いいえ。HP IPコンソール スイッチは、特定のモデルのコンソール スイッチをサポートしています。

[メイン]ダイアログ ボックスにアクセスする方法を教えてください。

Print Scrnキーを押します。[メイン]ダイアログ ボックスが表示されます。

注：Ctrlキーを1秒間に2回押すことによってOSDを起動することもできます。このキー操作は、**Print Scrn**キーについて説明しているすべての場所で使用できます。



コンソール スイッチをカスケード接続する方法を教えてください。

「コンソール スイッチのカスケード接続」（33ページ）を参照してください。

キーボードの言語を変更する方法を教えてください。

インタフェース アダプタでの言語固有のキーボード エミュレーションは、OSDで選択した言語によって決定されます。

カスケード接続されたコンソール スイッチが接続されているポートを識別する方法を教えてください。

「ポートおよびサーバの表示と選択」（44ページ）を参照してください。

カスケード接続されたコンソール スイッチにローカル接続する方法を教えてください。

1. カスケード接続されたコンソール スイッチの電源を切ります。
2. メイン コンソール スイッチの電源を切ります。
3. メイン コンソール スイッチからローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを取り外します。
4. ローカル ポート用のキーボード、ビデオ、およびマウス ケーブルを、カスケード接続されたコンソール スイッチに接続します。
5. カスケード接続されたコンソール スイッチの電源を入れます。

コンソール スイッチのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。

「バージョン情報の表示」の「[バージョン]ダイアログ ボックスへのアクセス」（75ページ）を参照してください。

インタフェース アダプタのファームウェアのバージョンを調べる方法を教えてください。

「バージョン情報の表示」の「[バージョン]ダイアログ ボックスへのアクセス」（75ページ）を参照してください。

スクリーン セーバを無効にする方法を教えてください。

1. [セキュリティ]ダイアログ ボックス（64ページの「[セキュリティ]ダイアログ ボックスへのアクセス」を参照）から、**[スクリーン セーバ ユウコウカ]**の選択を解除します。
2. **[OK]**をクリックして設定を保存します。

スクリーン セーバをただちに起動にするには、**Print Scrn**キーを押して、**Pause**キーを押します。このコマンドは、ユーザがサーバに接続しているときにだけ動作します。

[シンダンノ ジッコウ]機能を使用する方法を教えてください。

「システム診断の実行」（70ページ）を参照してください。

シリアル ダウンロード ポートはホットプラグ対応ですか。

いいえ。ダウンロードが完了する前にシリアル ダウンロード ケーブルをシリアル ダウンロード コネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）から取り外した場合は、シリアル ダウンロード ケーブルを接続してHP IPコンソール スイッチを再起動する必要があります。

コンソール スイッチは動作可能ですか。

1. コンソール スイッチのリア パネルにある適切なコネクタ（9ページの「コンポーネント」を参照）に、ケーブル、ビデオ、およびマウス ケーブルを接続します。
2. HP IPコンソール スイッチの電源を入れます。

 コンソール スイッチのリア パネルにある動作インジケータLED（9ページの「コンポーネント」を参照）が点灯するかどうかを確認します。

 動作インジケータLEDが点灯する場合、コンソール スイッチは動作可能です。

 -または-

 動作インジケータLEDが点灯しない場合は、電源が機能していること、電源ボタンが押されていること、およびケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
3. 動作インジケータLEDが点灯したら、コンソール スイッチは動作可能なので、コンソール スイッチ（ローカル ポート）に接続されているモニタに接続されているキーボードの**Print Scrn**キーを押してください。[Main]メニューが表示されます（サーバが接続されていない場合は、画面が空白になります）。

ケーブルの最小/最大長を教えてください。

「接続距離に関する表」（99ページ）を参照してください。

サポートされているCAT5ケーブルの種類を教えてください。

UTP CAT5、CAT6、およびCAT7ケーブルだけがサポートされています。

HP IPコンソール スイッチのリモート ユーザがカスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチに接続されているサーバにアクセスできないのはなぜですか。

HP IPコンソール スイッチのリモート ユーザが、カスケード接続されたHP KVMサーバ コンソール スイッチに接続されているサーバにアクセスするには、HP KVMサーバ コンソール スイッチがフリー モードになっているか、スクリーン セーバが有効になっている必要があります。

HP KVMサーバ コンソール スイッチでフリー モードを有効にするには、**Print Scrn**キーを押すか、**Alt + 0**キーを押すか、[メイン]ダイアログ ボックスで**[セツゾクカイジョ]**をクリックします。すべてのサーバの選択が解除され、ステータス フラグにはFreeが表示されます（この操作はキーボードの**0**に適用され、キーパッドの**0**には適用されません）。

規定に関するご注意

この項の目次

規定準拠識別番号 107
Federal Communications Commission Notice 108
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only 109
Modifications 110
Cables 110
Canadian Notice (Avis Canadien) 110
European Union Notice 111
BSMI Notice 112
Korean Notices 112

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

規定準拠識別番号

規定に準拠していることの証明と識別のために、ご使用の製品には、固有の規定準拠識別番号が割り当てられています。規定準拠識別番号は、必要な認可マークおよび情報とともに、製品銘板ラベルに印刷されています。この製品の認可情報を請求する場合は、必ず、この規定準拠識別番号を参照してください。この規定準拠識別番号は、製品名またはモデル番号ではありません。

各国別勧告

以下に日本以外の国と地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission Notice

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (for example, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

FCC Rating Label

The FCC rating label on the device shows the classification (A or B) of the equipment. Class B devices have an FCC logo or ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or ID on the label. After you determine the class of the device, refer to the corresponding statement.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit that is different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo, United States Only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding this product, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
 P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
 Houston, Texas 77269-2000
- 1-800-652-6672 (For continuous quality improvement, calls may be recorded or monitored.)

For questions regarding this FCC declaration, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
 P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
 Houston, Texas 77269-2000
- 1-281-514-3333

To identify this product, refer to the part, series, or model number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett-Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian Notice (Avis Canadien)

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Notice

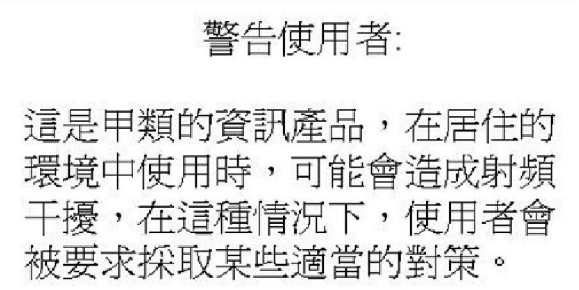


Products bearing the CE marking comply with the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community and, if this product has telecommunication functionality, the R&TTE Directive (1999/5/EC).

Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms (in parentheses are the equivalent international standards and regulations):

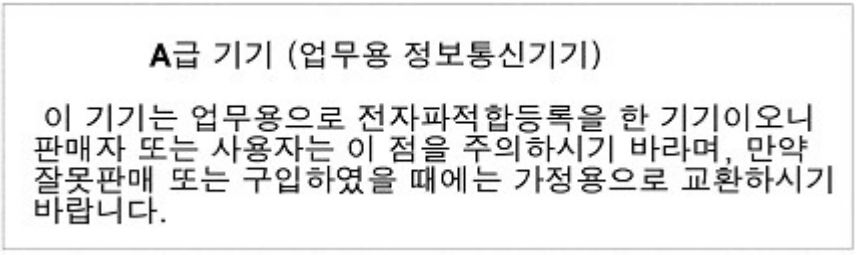
- EN 55022 (CISPR 22)—Electromagnetic Interference
- EN55024 (IEC61000-4-2, 3, 4, 5, 6, 8, 11)—Electromagnetic Immunity
- EN61000-3-2 (IEC61000-3-2)—Power Line Harmonics
- EN61000-3-3 (IEC61000-3-3)—Power Line Flicker
- EN 60950 (IEC60950)—Product Safety

BSMI Notice

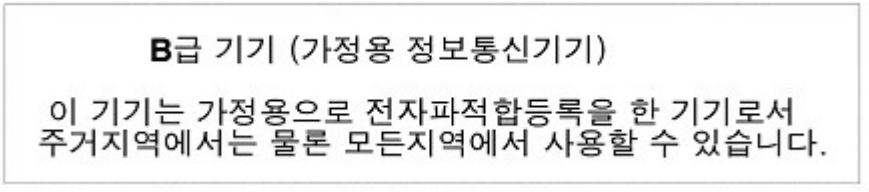


Korean Notices

Class A Equipment



Class B Equipment



頭字語と略語

CPU

Central Processing Unit。中央処理装置

CRC

Cyclic Redundant Checks。巡回冗長検査

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol

EID

Electronic Identification Number。電子ID番号

EPR

Engineer Problem Resolution

IA

Interface Adapter。インタフェース アダプタ

IP

Internet Protocol。インターネット プロトコル

KVM

Keyboard, Video, and Mouse。キーボード、ビデオ、およびマウス

OSD

On-screen Display。オン スクリーン ディスプレイ

RPM

Red Hat Package Manager

TCP

Transmission Control Protocol

TFTP

Trivial File Transfer Protocol

USB

Universal Serial Bus。ユニバーサル シリアル バス

UTP

Unshielded Twisted Pair。非シールド ツイスト ペア

VDC

Voltage Direct-current

VGA

Video Graphics Array

索引

B

BSMI Notice 112

C

Cables 110
Canadian Notice (Avis Canadien) 110
CAT5 ケーブル 106
Class A Equipment 108、110、112
Class B Equipment 109、110、112
Compaq ブランドのサーバ コンソール スイッチ 33、34
　カスケード構成 37

E

European Union Notice 111

F

FAQ（よくある質問） 101
FCC Rating Label 108
Federal Communications Commission Notice 108
FLASH
　失敗の分析 89
FLASH ファームウェア
　アップグレード 87

H

HP IP コンソール スイッチ
　カスケード構成 41
　更新 83
　取り付け 11
　ハードウェア、更新 83
　ハードウェア、設定 21
　ログオン 65
HP IP コンソール ビューア 11

I

IP コンソール ビューア 85

K

Korean Notices 112

L

LAN 接続の確立 86
LED、トラブルシューティング 93
Linux
　Minicom の設定 23
　TFTP、確認 80
　TFTP、有効化 80

M

Minicom の設定 23
Modifications 110

O

OSD
　起動 103
　表示するまでの遅延時間の設定 57
OSD 操作
　キーの使用方法 49
OSD、非表示
　Mouse and keyboard have been reset 97
　OSD フラグ 97
　アクセスできない 98
　画面が緑色または赤色だけで表示される 99
　著作権表記 96
　ビデオ解像度を正しく設定できない 99
　歪んだり、文字が読めない 97

P

PS/2 マウス接続の再設定 74

R

RILOE および iLO 98

S

[Secure TFTP Service]ページへのアクセス 82

T

TFTP
ファームウェアのアップグレード 79
TFTP、確認
Linux 80
TFTP、設定
Windows 81
TFTP、有効化
Linux 80
Windows 79、80

W

Windows 79、80、81、83
[Secure TFTP Service]ページへのアクセス 82
TFTP、設定 81
TFTP、有効化 79、80
ソフトウェア 21、22

あ

アクセス
[Secure TFTP Service]ページ 82
[コマンド]ダイアログ ボックス 68
[スキャン]ダイアログ ボックス 61
[セキュリティ]ダイアログ ボックス 64
[セッテイ]ダイアログ ボックス 50
[ナマエ]ダイアログ ボックス 51
[バージョン]ダイアログ ボックス 75
[フラグ]ダイアログ ボックス 58
[ブロードキャスト]ダイアログ ボックス 60
[メイン]ダイアログ ボックス 43
[メニュー]ダイアログ ボックス 56
アップグレード
FLASH ファームウェア 87
ファームウェア 79

い

インストール
手順 13
インタフェース アダプタ
交換 102
接続 31
取り付け 31
ファームウェア
更新 89
個別更新 90
同時更新 89
ホットプラグ対応 101

お

オプションの品目 12

か

拡張モジュール 28、29、30、96
概要 27
接続 30
取り付け 27
ハードウェアの取り付け 27
ホットプラグ対応 101
確認
TFTP、Linux 80
インタフェース アダプタ 104
コンソール スイッチのファームウェア 95、104
ファームウェア
コンソール スイッチ 95
確立
LAN 接続 86
カスケード接続コンソール スイッチ構成
正しくない場合 94
各国別勧告 107

き

キー
OSD 操作 49
キーストロークのブロードキャスト 59
キーボード 97、102、103
言語 103
キットの内容 12
拡張モジュール 27
規定準拠識別番号 107
規定に関するご注意 107
起動
スキャン モード 63
[ブロードキャスト]ダイアログ ボックス 61

け

ケーブル 93、94、95、96、99、105、106
VGA 99
キット 105、106
ケーブル接続 93、99、105、106
言語、キーボード 103
現在のユーザ接続の表示 69

こ

更新
インタフェース アダプタのファームウェア 98
カスケード接続コンソール スイッチのファームウェア 94、95
カスケード接続されたコンソール スイッチ 98
ファームウェア 95
インタフェース アダプタ 89、90
互換性のあるコンソール スイッチ モデル 33
[コマンド]ダイアログ ボックス 67
アクセス 68
コンソール スイッチ 102
カスケード構成 37
カスケード接続 33、35、38、103、104、106
再起動するとハングする場合 95
システムに認識されない場合 99
正しいファームウェアがインストールされていない場合 95
ハードウェアの更新 83
ハング 95
ローカル接続 104
コンソール スイッチ カスケード構成 41
コンソール スイッチ構成 94
コンポーネント 31、37、41
説明 9

さ

サーバ
アクセス 106
ステータス 46
接続 102
接続、切断 98
選択 47
ソフト スイッチの設定 48
タスクの管理 67
追加、[スキャン]リスト 62
日常的なタスクの管理 51
表示順の選択 56
表示と選択 44
ブロードキャスト 59、60
サーバ名
追加 26
割り当て 51
再起動するとハングする場合 95
サイド マウント 28
サポート 102
コンソール スイッチ 102

し

システム構成 37、41
システム診断の実行 70、72、105
システム設定 30、31
失敗
FLASH 89
シリアル ダウンロード コネクタ 105
[シンダンノ ジッコウ]
起動 72、98
機能 105

す

[スキャン]ダイアログ ボックス 61
アクセス 61
起動、スキャン モード 63
削除、サーバ 63
追加、サーバ 62
停止、スキャン モード 63
スキャン パターンの設定 61
スキャン モード
起動 63
停止 63
[スキャン]リスト
サーバの削除 63
サーバの追加 62
スクリーン セーバ
起動しない場合 98
設定 98
無効 104
無効化 66
スクリーン セーバ モード 67
起動 67
終了 66
ステータス フラグ
制御 57
表示 58

せ

セキュリティ、設定
ローカル コンソール スイッチ 65、66
[セキュリティ]ダイアログ ボックス 64
アクセス 64
コンソール スイッチへのログオン 65
スクリーン セーバの無効化 66
スクリーン セーバ モード 67
終了 66
パスワードの変更 65
パスワード保護
削除 66
設定 65
接続
インタフェース アダプタ 31
コンソール スイッチ 38、104
問題 104
ユーザ接続 69
接続距離 99、105
設定
カスケード接続されたコンソール スイッチ 96、103、106
[セッテイ]ダイアログ ボックス 50
マウス 25
ローカル コンソール スイッチのセキュリティ 64、65、66、67
[セッテイ]ダイアログ ボックス 50、51
アクセス 50

そ

操作
ローカル ポート 43
ソフトウェア
Windows 21、22
ソフト スイッチ 48、49

て

[デバイス]ダイアログ ボックス 52、53、55
デバイス タイプ
変更 53
割り当て 52
電源コード コネクタ 9、21
電源切断 102

と

同梱されていない必要な品目 12
動作インジケータ LED
点灯しない 93、105
トラブルシューティング 93
取り付け
インタフェース アダプタ 31
拡張モジュール 27
取り付け前のチェックリスト 11、27

な

[ナマエ]ダイアログ ボックス
アクセス 51
サーバ名の割り当て 51

ね

ネットワークのセットアップ 12

は

バージョン情報の表示 75
[バージョン]ダイアログ ボックス 75
アクセス 75
ハードウェア、取り付け
拡張モジュール 27
ハイパーターミナルの設定 22
パスワード
シリアル ポート
忘れた場合 96
変更 65
ローカル OSD コンソール スイッチ
忘れた場合 96
パスワード保護
削除 66
設定 65

ひ

必要な工具 12
表示
ポートおよびサーバ 44
表示するまでの遅延時間 57
表示動作の変更 56

ふ

ファームウェア
アップグレード
TFTP 79
更新 89、90、95、98、99
[フラグ]ダイアログ ボックス
アクセス 58
ステータス フラグの制御 57
表示 58
[ブロードキャスト]ダイアログ ボックス
アクセス 60
キーストロークのブロードキャスト 59
起動 61
サーバ
ブロードキャスト 59、60
マウスの動きのブロードキャスト 60

ほ

ポート
拡張モジュール 101
表示と選択 44、104
ホットプラグ対応 101、102
インタフェース アダプタ 101

ま

マウス
Mouse and keyboard have been reset 97
位置が揃わない場合 97
加速度の調整 25
機能しなくなる場合 97
ホットプラグ対応 102
マウスの動きのブロードキャスト 60
マジック テープ マウント 30

め

[メイン]ダイアログ ボックス 47
アクセス 43、103
サーバ ステータス列の表示 46
サーバの選択 47
接続、切り替え 47
[ポート]列の表示 44
[メニュー]ダイアログ ボックス 56、57

も

モニタ 102

問題の診断 93

ゆ

ユーザ
切断 69
[ユーザジョウタイ]ダイアログ ボックス 69
ユーザ接続
表示および切断 69

ら

ラック マウント
設置 102
ハードウェア 102
ラックマウント構成 13

れ

レール マウント 29

ろ

ローカル コンソール スイッチ
セキュリティの設定 64、65、66
ローカル接続 104
ローカル ポート操作 43
ローカル ユーザ
OSD の著作権表記を表示できない場合 96
OSD フラグを表示できない場合 97

わ

割り当て
サーバ名 51